

令和6年度 事業報告書

目 次

令和6年度 事業報告書

1	事業概要	1
2	事業実施状況	4
	基本目標Ⅰ 包括的な支援体制の構築	
	推進項目1 地域における総合的な支え合い活動の創出	
	（1）市町村圏域における包括的支援体制の構築	4
	（2）ボランティア・市民活動と福祉教育の推進	17
	推進項目2 市町村における総合的な相談支援体制の強化	
	（1）権利擁護体制の構築	23
	（2）生活困窮者等への支援	32
	（3）社会福祉法人等の連携強化	41
	基本目標Ⅱ 福祉人材の確保・育成・定着	
	推進項目1 福祉人材の確保に向けた取組の強化	
	（1）福祉人材の確保に向けた取組の推進	51
	（2）福祉人材確保にかかる求人事業所・求職者への支援	56
	推進項目2 福祉人材の育成・定着に向けた取組の強化	
	（1）福祉人材の育成・定着に向けた取組の推進	65
	基本目標Ⅲ 災害福祉支援体制の強化	
	推進項目1 災害に備えた体制の整備	
	（1）災害福祉支援ネットワークの機能強化	77
	（2）災害派遣福祉チーム（ぐんまDWA T）の機能強化	80
	推進項目2 災害ボランティア活動への支援	
	（1）多様な災害ボランティア関係団体との連携	89
	（2）災害ボランティアセンターの運営支援	89
	推進項目3 感染症に対応した体制の整備	
	（1）感染症発生時の社会福祉施設への支援	94

（２）感染症予防に向けた取組の強化……………	95
------------------------	----

基本目標Ⅳ 県社協の組織基盤の強化

推進項目１ 組織体制の強化

（１）人材育成の強化……………	97
-----------------	----

（２）働き方改革の推進……………	99
------------------	----

（３）情報発信の強化……………	99
-----------------	----

推進項目２ 経営基盤の強化

（１）財政基盤の強化と既存事業の見直し……………	101
--------------------------	-----

（２）ガバナンスの強化……………	102
------------------	-----

（３）関係団体との連携強化……………	104
--------------------	-----

第３期 群馬県社会福祉協議会

活動推進計画（2021年度～2025年度）評価一覧……………	107
--------------------------------	-----

令和6年度 事業報告書

1 事業概要

近年、少子高齢化や人口減少、価値観の多様化などを背景として、地域における支え合いの機能が脆弱化し、複合的な課題や制度の狭間となっている課題が顕在化している。

特に、長期化したコロナ禍により孤独・孤立の問題が深刻化していることから、令和6年4月に「孤独・孤立対策推進法」が施行され、様々な地域課題の背景に存在する孤独・孤立問題に社会全体で取り組むことが求められている。

こうした中、各市町村圏域においては、「誰一人取り残されない地域共生社会」の実現に向けて、一人一人の状態に応じて寄り添いながら、包括的に支えていく体制を構築するための取組が進められているが、担い手となる福祉人材の確保と育成が喫緊の課題となっているとともに、生活困窮者支援の強化や権利擁護体制の確保、災害福祉支援体制の整備等を図っていくことが不可欠となっている。

本会においては、こうした地域課題に積極的に対応していくため、令和5年度に中間見直しを実施した第3期活動推進計画により、2040年の目指す姿を展望しつつ、計画的に事業を展開した。

基本目標Ⅰ 包括的な支援体制の構築

●市町村における包括的支援体制の構築の推進

市町村と市町村社協の連携により、県内における包括的支援体制の構築が促進されるよう、「包括的支援体制の構築における市町村社協の取組指標」に基づき、各市町村社協における自己評価を実施し、取り組み状況を把握するとともに、研修会や情報交換会等の企画実施を通じて市町村及び市町村社協の取組を体系的に支援した。

●企業等との連携・協働の強化

地域共生社会の実現に向けて、企業や民間団体との協働を推進するため、本会内の「企業等SDGs活動支援センター」の機能を活性化させ、企業等と地域における福祉活動や福祉関係者、団体等との「マッチング支援」をはじめ、企業等の福祉活動を継続的にサポートとする「相談支援」、企業等の取組事例などの「情報発信」等を行った。

また、地域の諸課題に迅速かつ適切に対応するため、企業等と地域社会づくりに向けた包括連携協定を締結し、相互連携と協働による活動を推進した。

●市町村社会福祉協議会職員に向けた研修体系の構築

包括的支援体制の中核を担う市町村社協の人材育成を図るため、「群馬県内市町村社協職員の階層別能力開発体系」に基づく研修を実施した。

●「ぐんま地域福祉権利擁護センター」における成年後見制度の推進

市町村における権利擁護体制の整備を推進するため、中核機関の設置及び設置後の支援を行うとともに、市町村社協の法人後見の取組を支援した。

また、身元保証や死後事務といった身寄りのない高齢者等に対する支援等の課題について検討を行った。

●生活困窮者支援の強化

生活困窮者自立支援法に基づく3事業（自立相談、就労準備、家計改善）を一体的に実施するとともに、事業間で相互補完的・連続的な支援を実施した。

また、住まいに課題を抱える生活困窮者等に対し、総合的な相談支援から見守り支援・地域とのつながり促進などの居住支援を一貫して実施するとともに、緊急連絡先確保支援事業を新たに実施する等、支援の拡充を図った。

●生活福祉資金貸付事業の推進

低所得者世帯等を支援するため、市町村社協と連携して本則貸付を実施するとともに、特例貸付借受人への相談支援や債権管理の実施、次年度より本格的に取り組む特例貸付の借受人に対するフォローアップ支援の実施体制の構築を図った。

●孤独・孤立対策の推進

孤独・孤立対策の推進に向けて、シンポジウムの開催や情報発信等により社会機運の醸成を図るとともに、県域における「官民連携プラットフォーム」の設置や専用ホームページ（ポータルサイト）を開設・運用する等、行政、支援者、関係者間の連携・協働を促進した。

また、孤独・孤立に対する理解や意識を社会全体で高めていくため、「つながりサポーター」養成講座の実施に向けた体制整備を図った。

●子ども・若者支援の強化

複合化・複雑化した課題を抱え、困難な状況の中で生活している子どもや若者等に対する支援を拡充するため、「ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク」を設立し、子ども・若者支援フォーラムや支援者の資質向上を目的とした研修会、情報交換会の実施等を通じ、支援団体及び個人の連携・協働体制の構築を図った。

基本目標Ⅱ 福祉人材の確保・育成・定着

●「福祉人材センター」における取組の強化

各種貸付事業と連動した求職者支援や「福祉のすそ野を広げるための体験事業」を推進するなど、他分野からの参入促進を図った。

また、若年層を意識したLINE及びInstagramによる情報発信やオンラインによる相談等、ICTを活用した取組を積極的に展開した。

さらに、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程について、新たに研修管理システムを導入し、参加申込、受講履歴の確認等において受講者の利便性を高めた。

基本目標Ⅲ 災害福祉支援体制の強化

●「災害福祉支援センター」による取組の促進

平時からの福祉支援体制の基盤整備を進めていくため、社会福祉施設等の「事業継続計画（BCP）」や事業継続マネジメント（BCM）、市町村が中心となって取り組む「個別避難計画」の策定支援に一層努めるとともに、「福祉避難所」の体制整備を進めた。

また、災害時に備えた取り組みとして、県内5ブロックにおいて災害ボランティアセンター設置運営・資機材プラットフォームを構築し、平時からの災害支援体制の基盤整備を促進した。

●「能登半島地震」における支援活動

令和6年1月1日に発生した能登半島地震への継続支援として、群馬県災害派遣福祉チーム（ぐんまDWA T）を4月1日～6月30日までの間、合計25クールにわたって58名を派遣し、1. 5次避難所において、石川DWA Tへの伴走支援を行い、要配慮者の生活を支える活動を行った（令和6年1月からの累計で、48クール、120名を派遣）。

さらに、石川県内に設置された災害ボランティアセンターに対する継続支援活動として、4月16日から12月3日までの間、13のクール（1クール5日間）を担当し、県・市町村社協より職員55名を派遣し、運営支援を行った（令和6年1月からの累計で、16クール、県・市町村社協より71名を派遣）。

基本目標Ⅳ 県社協の組織基盤の強化

●組織体制の強化

業績評価制度及び能力評価制度の効果的な運用に努め、職員の人材育成とキャリアアップに向けた総合的な人材育成を推進するための検討を行った。

また、電子決裁をはじめ、文書管理や電子給与明細、勤怠システムの運用によるペーパーレス化の推進に加え、事務所内ネットワーク環境の無線LAN化を進め、業務プロセスの改善・効率化を図った。

さらに、社会福祉士の国家資格取得を希望する学生のソーシャルワーク（社会福祉士）実習の受入を継続実施し、受入が2校となった。

群馬県社会福祉協議会の社会福祉法人としての「地域における公益的な取組」の実施状況について

群馬県社会福祉協議会は、市町村社協をはじめ、社会福祉法人・施設と連携・協働して、地域共生社会の実現に向けた取組を展開していくため、県内を「県域」、「市町村域」、「各法人」の3層に分けて重層的な取組を進めている。

「県域」では「群馬県ふくし総合相談支援事業」を実施するとともに、「市町村域」においては「社会福祉法人等連絡会」の設置をはじめ、小地域における「施設間連携」の推進、「各法人」に対しては協働した取組を進めるための「情報提供やノウハウの支援」を行うなど、県全域における包括的支援体制の構築に努めている。

2 事業実施状況

基本目標Ⅰ 包括的な支援体制の構築

推進項目1 地域における総合的な支え合い活動の創出

(1) 市町村圏域における包括的支援体制の構築

地域生活課題を住民の支え合いにより解決する仕組みづくりを推進した。

①住民の支え合い活動の育成

(ア) 生活支援体制整備事業

地域における生活支援等の支え合い体制を構築・推進するため、生活支援コーディネーターの研修、各市町村等からの事業推進に対する相談対応、ブロック別情報交換会等を実施することにより市町村の生活支援体制整備事業を支援した。

(a) 生活支援体制整備事業基礎研修会

※講師等関係者の敬称は略

期日・場所等	内 容
5月29日 (集合&web開催) 参加者105名	説明①「生活支援体制整備事業について」 講師 群馬県健康福祉部福祉局介護高齢課 認知症・地域支援係 係長 佐藤 友有子 説明②「生活支援コーディネーターと協議体に期待されること」 講師 群馬県社会福祉協議会地域福祉課 主事 池田 智子 事例報告①「伊勢崎市赤堀地区協議体の居場所立ち上げの支援について」 報告者 伊勢崎市社会福祉協議会 地域福祉推進課 係長 牛久保 豪男 赤堀支所 主事 木村 透也 事例報告②「昭和村社協における協議体の取り組みについて」 報告者 昭和村社会福祉協議会 係長 諸田 和哉

(b) ブロック別情報交換会等

ブロック	内 容
中部ブロック	8回開催(うち情報交換会 7回)
西部ブロック	12回開催(うち情報交換会 12回)
東部ブロック	6回開催(うち情報交換会 6回)
利根・沼田ブロック	5回開催(うち情報交換会 5回)
吾妻ブロック	5回開催(うち情報交換会 5回)
ブロック幹事会 前橋市 2月18日 参加者17名	・ブロック別情報交換会について、各ブロックの開催状況・内容について ・県内における生活支援体制整備の推進に向けて ・情報交換

(c) 生活支援体制整備事業フォローアップ研修会

期日・場所等	内 容
1月16日 前橋市 参加者 80 名	講義「生活支援体制整備事業における様々な課題解決に向けて」 講師 公益社団法人国民健康保険中央会 企画部企画調査課 併予防接種システム準備室 併事業・研修課 課長代理 澤 美杉 パネルディスカッション ファシリテーター 公益社団法人国民健康保険中央会 企画部企画調査課 併予防接種システム準備室 併事業・研修課 課長代理 澤 美杉 助言者 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子 事例発表①「下仁田町生活支援体制整備事業について」 発表 下仁田町役場 福祉課包括支援係 主幹 小井土 恵利子 下仁田町社会福祉協議会 主事 栗原 麻由香 事例発表②「SCの視点が変われば結果も変わる！？ ～住民主体と伴走支援の実施～」 発表 葛城市社会福祉協議会 課長補佐 田口 研一郎 グループワーク・発表 テーマ「基調講演、パネルディスカッションからの気づき」

(d) 生活支援体制整備事業アドバイザー派遣

派遣市町村・期日等	内 容
渋川市 4月10日 参加者 5 名 5月24日 参加者 110 名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言 講演「お互い様の助け合い！みんなでつくる地域づくり！」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子
下仁田町 5月20日 (web 開催) 参加者 4 名	協議体や生活支援コーディネーターの活動に関する 相談への対応と助言 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子
明和町 6月14日 参加者 5 名 7月11日 参加者 13 名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言 講義「居場所づくり～お互いさまで支え合う地域づくり～」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子

派遣市町村・期日等	内 容
東吾妻町 8月29日 (web開催) 参加者4名 10月1日 参加者50名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言 講演「新たな気づきと一歩前へ」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子
桐生市 10月10日 参加者6名 12月23日 参加者85名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言 講演「お互いさまの輪を広げよう！支えあいのまちづくり ～地域に必要な生活支援の仕組みをつくるため～」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子
藤岡市 12月23日 参加者5名 1月24日 参加者85名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言 講演「生活支援体制整備事業 ～お互いさまで支え合うまちづくり～」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子
大泉町 1月20日 参加者5名 2月7日 参加者70名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言 講演「お互いさまのまちづくり～大泉町の現状と協議体の役割～」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子
伊勢崎市 2月7日 参加者5名 3月17日 参加者75名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言 講演「生活支援体制整備事業の今後について ～お互いさまの助け合いを広げよう～」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子

派遣市町村・期日等	内 容
吉岡町 2月18日 参加者7名 3月19日 参加者35名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言 講演「生活支援体制整備事業における 協議体の進め方のヒントやアドバイス」 アドバイザー 認定NPO法人じゃんけんぽん 理事長 井上 謙一
みどり市 1月20日 参加者4名 3月21日 参加者23名	事前打ち合わせ・ヒアリングと助言 講演「生活支援体制整備事業 ～お互いさまで支え合うまちづくり～」 アドバイザー 高崎市第1層生活支援コーディネーター 目崎 智恵子

(e) 生活支援体制整備事業視察研修会

期日・場所等	内 容
12回実施 参加者33名 (延べ)	視察受け入れ先(5市町) ①第1層協議体 ・高崎市1か所(1回) ②第2層協議体 ・高崎市3か所(3回) ・渋川市2か所(3回) ・吉岡町1か所(1回) ③支え合い活動 ・渋川市1か所(1回) ・明和町1か所(1回) ・大泉町1か所(2回)

(イ) 地域共生社会の実現に向けた取り組み促進事業

(a) 重層的支援体制整備事業に関する勉強会

期日・場所等	内 容
8月6日 前橋市 参加者35名	講義「包括的な支援体制整備と重層的支援体制整備事業」 「重層的支援会議に活用できる 全方位型アセスメントの理解と事例検討会の具体的進行」 講師 一般社団法人コミュニティーネットハピネス 代表理事 土屋 幸己 演習「講義を聞いたうえでの感想と情報交換」 講師 一般社団法人コミュニティーネットハピネス 代表理事 土屋 幸己

期日・場所等	内 容
1 月 28 日 前橋市 参加者 23 名	講義・演習「地域共生社会の実現に向けた 包括的支援の構築について」 講師 一般社団法人コミュニティーネットハピネス 代表理事 土屋 幸己

(ウ) ふれあいいきいきサロン研修会

県内 5 ブロック（中部、吾妻、利根・沼田、西部、東部）にて参集開催

期日・場所等	内 容
吾妻ブロック 8 月 21 日 中之条 参加者 69 名	講義・レクリエーション研修 講師 Mac Activity Office 代表 飯田 誠
中部ブロック 10 月 4 日 前橋市 参加者 196 名	①サロン実践者発表 ・オレンジ SUN あずま ・古巻地区のサロン併設団体 ②講義・レクリエーション研修 講師 Mac Activity Office 代表 飯田 誠
利根・沼田ブロック 10 月 25 日 昭和村 参加者 80 名	講義・レクリエーション研修 講師 Mac Activity Office 代表 飯田 誠
西部ブロック 12 月 13 日 藤岡市 参加者 458 名	①サロン実践者発表 ・森新田ほっこりサロン ・藤岡市朗読ボランティア かたりべの会 ②講義・レクリエーション研修 講師 Mac Activity Office 代表 飯田 誠
東部ブロック 1 月 21 日 邑楽町 参加者 110 名	①サロン実践者発表 ・第 9 区ふれあいサロン ②講義・レクリエーション研修 講師 Mac Activity Office 代表 飯田 誠

(エ) ふれあいいきいきサロン活動調査（令和 6 年 6 月 1 日時点）

ふれあい・いきいきサロンの設置状況を把握するために調査を実施した。

年度	高齢者	障害者	子育て	その他	合 計
2024	2,066	27	231	63	2,387
2023	1,993	31	235	66	2,325
2022	2,031	22	236	58	2,347
2021	2,158	19	268	84	2,529

(オ) 孤独・孤立対策推進事業

孤独・孤立に悩む人を誰一人取り残されない地域づくりを推進するため、官民連携プラットフォーム構築と各種事業を実施した。

プラットフォーム入会数 131団体

(a) 官民連携プラットフォーム幹事会

期日・場所等	内 容
設立準備会 4月22日 前橋市 参加者20名	・プラットフォーム設立構想の共有 ・プラットフォームへの参加姿勢の合意 ・プラットフォーム設立後の運営体制や孤独・孤立対策推進方針 等
幹事会 9月2日 前橋市 参加者16名	・プラットフォーム入会状況について ・ポータルサイトについて ・アンケート結果について ・支援者向け研修会について 等

(b) 群馬県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム設立総会・記念シンポジウム

期日・場所等	内 容
5月16日 前橋市 (集合&web開催) 参加者215名	第1部 設立総会 プラットフォーム設立趣旨・取組概要説明 第2部 記念シンポジウム 記念講演「望まない孤独のない社会の実現に向けて」 講師 NPO法人あなたのいばしょ 理事長 大空 幸星 実践報告「LGBTQ 共に暮らすまちへ ～コミュニティスペース“まちのほけんしつ”の取組」 報告者 一般社団法人ハレルワ 代表 間々田 久渚

(c) 群馬県孤独・孤立支援ポータルサイトの開設

孤独・孤立対策に関する専用のホームページ（ポータルサイト）を開設し、群馬県孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの概要紹介、孤独・孤立に関する相談窓口一覧、プラットフォーム会員一覧、プラットフォーム入会申込フォーム、お知らせ等を掲載した。

群馬県孤独・孤立支援ポータルサイトURL：<https://kodoku-koritsu.gunma.jp/>

(d) 群馬県孤独・孤立対策 支援者向け研修会

期日・場所等	内 容
12月2日 前橋市 参加者91名	①基調講演「孤独・孤立問題の現状と対策の方向性」 講師 内閣府孤独・孤立対策推進参与 大西 連 ②実践報告 報告者 不登校と向き合う親の会さくらんぼの実る頃 湯浅 やよい NPO法人共に暮らす アジズ・アフメッド ③交流会

(カ) ぐんまの子ども・若者支援事業

子ども・若者支援を行う民間支援団体・個人の連携体制を構築することで、適切かつ効果的な支援につなげるため、「ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク」を設立し、各種事業を実施した。

ネットワーク入会数 21 団体・個人

(a) ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク設立総会

期日・場所等	内 容
5 月 18 日 前橋市 参加者 90 名	第 1 部 設立総会 第 2 部 設立記念講演 記念講演「誰ひとり取り残されない社会を目指して ～子ども・若者の孤独・孤立を防ぐために～」 講師 認定 N P O 法人自立生活サポートセンター・もやい 代表 大西 連

(b) ぐんまの子ども・若者支援フォーラム

期日・場所等	内 容
9 月 16 日 前橋市 参加者 94 名	第 1 部 基調講演「医療現場から見つめる子どもたちの姿」 講師 群馬大学大学院 医学系研究科小児科分野 助教 小児科専門医 堀越 隆伸 第 2 部 分科会 テーマⅠ「通信制高校を考える」 発表者 飛鳥未来きずな高等学校 キャンパス長 小林 未典 群馬県私立通信制高校等連絡協議会 事務局長 丸山 昌利 テーマⅡ「居場所を考える」 発表者 N P O 法人みんなのおうえん団 代表理事 轟田 あずさ 親子サークルははーず 代表 佐藤 美幸

(c) “つながる” 研修会

期日・場所等	内 容
2 月 9 日 前橋市 参加者 62 名	基調講演「誰もがつながり、生き（生き）がいを感じられる 社会を目指して」 講師 社会福祉法人一麦会麦の郷ひきこもりステーション事業 ハートフルハウス創センター長 野中 康寛

(d) 情報交換会

期日・場所等	内 容
8 月 23 日 前橋市 参加者 17 名	・ 情報交換
11 月 29 日 前橋市 参加者 22 名	・ 説明「R 高等学校（R7 年 4 月開校準備中）の概要について」 学校法人角川ドワンゴ学園 N 高等学校・S 高等学校 入学アドバイザー 長瀬 憲太郎 ・ 情報交換
2 月 17 日 前橋市 参加者 15 名	・ 困難事例の検討 ・ 情報交換

②包括的に生活課題を受け止め、住民主体による課題解決の仕組みの構築

(ア) 県社協会員福祉 N P O 代表者会議

期日・場所等	内 容
6 月 20 日 前橋市 参加者 9 名	・ 群馬県孤独・孤立対策官民連携プラットフォームについて ・ ぐんま子ども・若者支援ネットワークについて ・ 各団体取り組み・情報交換
3 月 10 日 前橋市 参加者 11 名	・ 災害福祉支援センターの活動について ・ 群馬県孤独・孤立対策官民連携プラットフォームについて ・ ぐんま子ども・若者支援ネットワークについて ・ 各団体取り組み・情報交換

(イ) 県内おもちゃの図書館情報交換会

期日・場所等	内 容
6 月 27 日 前橋市 参加者 17 名	・ 情報提供「おもちゃの図書館全国連絡会の取り組みについて」 認定 N P O 法人おもちゃの図書館全国連絡会事務局 隅田 ひとみ ・ 情報交換

(ウ) 市町村社協避難行動要支援者見守り事業

助成額等	内 容
2 社協に助成 200,000 円×2 社協	①榛東村社会福祉協議会 ②上野村社会福祉協議会

③包括的支援体制の構築における市町村社協の基盤強化支援

(ア) 市町村社協における「包括的支援体制構築における市町村社協の取組指標」による状況の把握

包括的支援体制の構築における取り組み内容の見直しや事業の方向性を明確化するために作成した本指標に基づいて、各市町村社協における自己評価の実施し、取り組み状況を把握した。

今後、この取り組み状況を踏まえて県社協で開催する研修等に活用していく。

(イ) 包括的支援体制整備のための市町村社協経営実態調査

社会福祉協議会の組織体制の強化や安定的な経営に向けて、各市町村社協における組織体制や経営に関する現状と課題等を把握することを目的とした実態調査を実施した。

(ウ) 市町村社協役職員研修会

(a) 新任社協職員研修会Ⅰ

期日・場所等	内 容
4月23日 前橋市 参加者15名	講義「福祉を取り巻く社会情勢と社会福祉協議会の役割」 講師 群馬県社会福祉協議会 会長 川原 武男 講義・演習 「接遇とビジネスマナー」 「報連相の基礎知識（報告書・メールの書き方）」 「アサーティブ・コミュニケーション」 講師 株式会社五和 キャリアコンサルタント 石井 順子

(b) 市町村社協新任事務局長研修会

期日・場所等	内 容
7月19日 前橋市 参加者15名	講義「社会福祉協議会における人事管理について 《働き方改革関連改正法のポイント》」 講師 関一之労務管理事務所 所長 特定社会保険労務士 関 一之 講義「社会福祉協議会における個人情報保護と守秘義務について ～社会の信頼に足る対応をしていくために～」 講師 弁護士法人龍馬 弁護士 板橋 俊幸 情報交換 「人事（労務）管理・個人情報の取り扱いについて」

(c) 社協職員高レベルのコミュニケーション研修会

期日・場所等	内 容
1月31日 前橋市 参加者9名	講義・演習 講師 駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻 教授 川上 富雄

(d) 新任社協職員研修会Ⅱ（社協新任職員フォローアップ研修会）

期日・場所等	内 容
2月10日 前橋市 参加者18名	講義・演習 講師 作新学院大学女子短期大学部 幼児教育科長 教授 坪井 真
2月27日 前橋市 参加者20名	講義・演習 講師 作新学院大学女子短期大学部 幼児教育科長 教授 坪井 真

(e) 社協職員コーディネーション・ファシリテーション研修会

期日・場所等	内 容
2月28日 前橋市 参加者6名	講義・演習 講師 作新学院大学女子短期大学部 幼児教育科長 教授 坪井 真

(エ) 市町村社協トップセミナー（群馬県市町村社会福祉協議会会長会との共催）

期日・場所等	内 容
1月17日 前橋市 (集合&web開催) 参加者264名	講演「「ともに生きる豊かな地域社会」の実現に向けて ～福祉関係者等への期待～」 講師 社会福祉法人全国社会福祉協議会 会長 村木 厚子

(オ) 市町村社協常務理事・事務局長会議

期日・場所等	内 容
4月26日 前橋市 参加者47名	議題 (1) 県社協各課の事業について (2) 県社協に対する意見、要望 行政説明 「孤独・孤立対策の推進について」 説明 群馬県健康福祉部福祉局地域福祉課 補佐 池田 昌弘 県社協説明 (1) 「令和6年度新規事業および市町村社協への 支援策について」 説明 群馬県社会福祉協議会地域福祉局 次長 山田 真喜子 (2) 「令和6年能登半島地震への対応について」 説明 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 情報交換 (1) 人材育成について (2) 介護保険事業の経営について

(カ) 市町村社協経理研修

期日・場所等	内 容
8月21日 前橋市 (集合&web開催) 参加者54名	講義「包括的支援事業および重層的支援体制整備事業並びに 障害者相談事業にかかる消費税の課非判定」 「フリーランス新法と有償ボランティアの労働者性・ 源泉所得税について」 「社会福祉協議会と寄附税制について」 講師 根本明人税理士事務所 税理士 根本 明人

(キ) コミュニティソーシャルワーク実践研究会・研修

(a) コミュニティソーシャルワーク実践研究会

期日・場所等	内 容
4 月 12 日 前橋市 参加者 5 名	協議 (1) 令和 6 年度コミュニティソーシャルワーク実践研究会について (2) その他

(b) 社協職員のためのコミュニティソーシャルワーク研修会

期日・場所等	内 容
7 月 29 日 前橋市 参加者 22 名	講義「地域共生社会の実現に向けたソーシャルワーク基礎知識」 講師 安中市社会福祉協議会 課長 岡本 裕介 中之条町社会福祉協議会 常務理事兼事務局長 田村 尚 グループワーク
8 月 23 日 藤岡市 参加者 21 名	事例報告 「社会福祉法人と連携したコミュニティソーシャルワーク」 報告 藤岡市社会福祉協議会 係長 篠原 康一 「社会福祉法人を通じた地域づくり」 報告 藤岡市社会福祉協議会 係長代理 山川 剛 「支え合い協議体と社会福祉法人との連携」 報告 藤岡市社会福祉協議会 主事 関 翔之介 グループワーク
8 月 23 日 沼田市 参加者 18 名	事例報告 地域支援事業「除雪ネットワーク構築と現在の取り組み」 報告 沼田市社会福祉協議会 係長 宮野入 学 地域交流イベント「夜 de ないと FESTIVAL&無料シネマ上映会」 報告 沼田市社会福祉協議会 管理責任者 渡辺 有紀恵 講義「持続可能な地方の在り方」 ～キャンプ場経営を通して見える未来～ 講師 株式会社もりの遊苑地 グリーンパークふきわれ 代表取締役 小林 勉 グループワーク 振り返り・感想

(ク) 市町村社会福祉協議会介護・障害サービス管理者等情報交換会

期日・場所等	内 容
1 月 24 日 前橋市 参加者 14 名	講義「社協の介護保険事業戦略」～サービスの本質を考える～ 講師 根本明人税理士事務所 税理士 根本 明人

(ケ) 市町村社協地域福祉・ボランティア担当者会議

期日・場所等	内 容
8 月 1 日 前橋市 参加者 22 名	県社協説明「令和 6 年能登半島地震に伴う 災害 V C 運営支援状況について」 「包括的支援体制の構築における 市町村社協の取り組み指標について」 情報交換 (1) 「市町村社協の実施事業や取組方針等について」 (2) 「事前アンケートで出された希望テーマ」

(コ) 郡市町村社会福祉協議会活動調査の実施

郡市町村社会福祉協議会の活動状況を把握し、相互による活動推進及び関係機関・団体との連携等を目的に 35 市町村社協及び 1 郡社協に対して調査を実施した。

(サ) 市町村社協会長会への助成

助成額	内 容
175,000 円	1 社協あたり 5,000 円 × 35 市町村社協として助成

(シ) 群馬県内社協職員連絡協議会運営支援

(a) 群馬県内社協職員連絡協議会への助成

助成額	内 容
150,000 円	研修への助成

(b) ステップアップ研修会（群馬県内社協職員連絡協議会との共催）

期日・場所等	内 容
10 月 23 日 前橋市 参加者 16 名	講義・演習「福祉現場における接遇研修」 講師 4ever partners キャリアコンサルタント 鈴木 道子

(c) パワーアップ研修会（群馬県内社協職員連絡協議会との共催）

期日・場所等	内 容
12 月 4 日 前橋市 参加者 23 名	講義・演習「カスタマーハラスメント防止研修」 講師 4ever partners キャリアコンサルタント 鈴木 道子

(d) 地域福祉活動研修会（群馬県内社協職員連絡協議会との共催）

期日・場所等	内 容
3 月 5 日 (web 開催) 参加者 14 名	講義・演習「社協のファンと資金を集めて 地域福祉活動を飛躍させるファンドレイジング基礎知識」 講師 一般社団法人日本地域福祉ファンドレイジング ネットワーク COMMNET 理事長 久津摩 和弘

(e) 第 60 回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会

令和 7 年度の開催に向け準備を行った。（群馬県内社協職員連絡協議会との共催）

期日・場所等	内 容
4 月 25 日 (web 開催)	【令和 6 年度関東ブロック社協職員の会連絡会理事会】
6 月 10 日 前橋市 参加者 27 名	【令和 6 年度第 1 回実行委員会】 ①開催期日、②会場、③内容、④実行委員の任期
9 月 13 日 前橋市 参加者 23 名	【令和 6 年度第 2 回実行委員会】 ①再調整報告、②内容の再確認、③実行委員会の役割
11 月 27 日 前橋市 参加者 28 名	【令和 6 年度第 3 回実行委員会】 ①広報依頼、②実行委員会の役割分担
1 月 8 日	【令和 6 年度関東ブロック社協職員の会連絡会】 分科会内容報告依頼
2 月 20 日 前橋市 参加者 24 名	【令和 6 年度第 4 回実行委員会】 ①広告依頼、②実行委員の役割分担

(ス) 全国会議・研修等への参加

(a) 春季関東甲信越静岡ブロック都県・指定都市社会福祉協議会 組織・ボランティア業務担当部・課長会議（横浜市・参加者 2 名）

(b) 秋季関東甲信越静岡ブロック都県・指定都市社会福祉協議会 組織・ボランティア業務担当者会議（横浜市・参加者 2 名）

④共同募金運動への協力・推進

(ア) 共同募金運動への協力

社会福祉法第 119 条に基づく共同募金に対する意見書を提出した。

(イ) 使途選択募金の運営支援（委員として出席）

期日・場所等	内 容
6 月 21 日 前橋市	「つかいみちを選べる赤い羽根募金」配分式
6 月 21 日 前橋市	「つかいみちを選べる赤い羽根募金」エントリー団体連絡会議
8 月 21 日 前橋市	「つかいみちを選べる赤い羽根募金」エントリー団体連絡会議
12 月 3 日 前橋市	「つかいみちを選べる赤い羽根募金」エントリー団体連絡会議
2 月 10 日 (web 開催)	「つかいみちを選べる赤い羽根募金」エントリー団体連絡会議

(2) ボランティア・市民活動と福祉教育の推進

県内のボランティア・市民活動や福祉教育を一層推進するため、フォーラムや研修会、連絡会議等の開催を通して取組の基盤整備を図った。

①社協ボランティアセンター機能の強化

(ア) ぐんまボランティア・市民活動支援センター運営委員会

期日・場所等	内 容
6 月 26 日 前橋市 参加者 14 名	・副委員長の選任について ・令和 5 年度事業報告について ・令和 6 年度事業計画について ・災害ボランティア活動助成金の助成状況について ・群馬県災害ボランティア活動助成団体の審査について ・情報交換
3 月 12 日 前橋市 参加者 16 名	・令和 6 年度事業報告について ・令和 7 年度事業計画について ・災害ボランティア活動助成金の助成状況について ・令和 6 年能登半島地震における支援状況について ・改選について ・情報交換

(イ) 市町村社協地域・ボランティア担当者情報交換会

期日・場所等	内 容
6 月 14 日 前橋市 参加者 9 名	・各市社協の取組みについて ・事業実施上の課題について ・県社協への要望等について
1 月 23 日 渋川市 参加者 21 名	・渋川市社会福祉協議会「だれでも広場」施設見学 ・渋川市社会福祉協議会ボランティアセンター事業紹介 ・情報交換会

②地域を基盤とした福祉教育・ボランティアの推進

(ア) 社会福祉協力校事業（小中高等学校・地域指定）

単年度学校指定モデル事業（単年度）指定：6校

(a) 社会福祉協力校（単年度）への活動費助成（1校 50,000 円）

当該市町村社協を通じて協力校へ助成金を交付した。

- ・前橋市立明桜中学校
- ・高崎市立寺尾中学校
- ・伊勢崎市立境南中学校
- ・沼田市立沼田南中学校
- ・館林市立第一小学校
- ・館林市立多々良中学校

(b) 市町村社協への連絡調整費助成（1校 10,000 円）

- ・当該市町村社協に連絡調整にかかる助成金を交付した。

(イ) 地域指定福祉協力校モデル事業（3年間）指定：2地区

(a) 指定地域への活動費助成（1地区 300,000 円）

地域・学校・家庭が連携をして地域に密着した福祉教育の推進を図るため、概ね中学校区を単位として指定した。

- ・中之条町全域（令和5～6年度）
- ・嬭恋村全域（令和4～6年度）

(ウ) 福祉協力校連絡会議

期日・場所等	内 容
4月30日 前橋市 参加者23名	・事業説明「社会福祉協力校活動助成事業について、福祉教育を進めるにあたって、その他」 ・実践発表 発表 前橋市立城東小学校 教諭 岡村 亮佑

(エ) 福祉教育セミナー

期日・場所等	内 容
8月19日 (web開催) 参加者56名	講演「これからの福祉教育のあり方 ～共生のまちづくりのために～」 講師 東北福祉大学 准教授 大石 剛史 実践発表 【学校】 桐生市立菱小学校 中山 道 【社協】 片品村社会福祉協議会 萩原 優 【福祉教育推進委員】 特別養護老人ホーム泉の園 鈴木 京子

(オ) ぐんまボランティアフォーラム

期日・場所等	内 容
2月18日 前橋市 参加者 50 名	テーマ「住民参加で高める地域力」 講義「住民参加で高める地域力」 講師 埼玉県立大学 准教授 川田 虎男 パネルディスカッション コーディネーター 埼玉県立大学 准教授 川田 虎男 活動報告者 ①館林市おもちゃの図書館 びっころ 代表 松沢 久雄 川田 正美 ②特定非営利活動法人アスワード (こども食堂ヒカリエキッチン) 代表理事 山本 祥一 副代表理事 長沢 心愛 ③前橋市社会福祉協議会 生活支援課 ボランティアセンター 勝山 征彦

③助け合い活動の育成、組織化、調整できるコーディネーターの育成・支援

(ア) 住民支え合いコーディネータースキルアップ講座

期日・場所等	内 容
2月3日 (web 開催) 参加者 20 名	講義 「人と人をつなぎ、どう機会を提供していくか」 講師 シチズンシップ共育企画 代表 川中 大輔

④企業活動と地域福祉活動との協働事業の推進

(ア) 企業等の社会貢献活動の推進セミナー

期日・場所等	内 容
1月22日 前橋市 参加者 61 名	基調説明① 「企業等SDGs活動支援センターについて」 講師 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 主任 茂木 恒人 基調説明② 「災害福祉支援センターの取り組みについて」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 基調説明③ 「SDGs ぐんま連絡会議の福祉分野の取り組み事例」 講師 株式会社ミツバ環境素ソリューション ソリューションプロジェクトマネージャー 神部 安希子 事例報告・パネルディスカッション コーディネーター SDGs ぐんま連絡会議 代表理事 片亀 光 パネリスト コガックス株式会社 代表取締役 松本 隆司 東群運送株式会社 代表取締役 齋藤 佳代子 一電機株式会社 代表取締役 村田 英樹

(イ) 福祉と企業のSDGs情報交換会

期日・場所等	内 容
11 月 20 日 前橋市 参加者 44 名	(1) 県社協説明 (2) 事例発表 (株) ベイシア、渋川市社会福祉協議会 (2) 情報交換

(ウ) 包括連携協定の締結

期日・場所等	内 容
11 月 25 日 前橋市	株式会社セントラルサービスと地域社会づくり包括連携協定を締結
2 月 5 日 前橋市	株式会社ザスパと地域社会づくり包括連携協定を締結
2 月 25 日 前橋市	日本労働組合総連合会群馬県連合会と包括連携協定を締結
3 月 18 日 前橋市	学校法人昌賢学園群馬医療福祉大学・群馬医療福祉大学短期大学部と包括連携協定を締結
3 月 19 日 前橋市	群馬県農業協同組合中央会と地域社会づくり包括連携協定を締結
3 月 28 日 前橋市	生活協同組合コープぐんまと地域社会づくり包括連携協定を締結

⑤へり遺児・保護児童への就学援助金等給付事業

(ア) へり遺児就学援助金

平成 30 年 8 月 10 日に発生した群馬県防災ヘリコプター墜落事故による遺児に対し、学資等の一部を給付した。

援助金種別	内 容
へり遺児	給付額 260,000 円 高校入学支度金 30,000 円×0 名=0 円 高校学資 月額 5,000 円×12 か月×1 名=60,000 円 大学入学支度金 100,000 円×2 名=200,000 円

(イ) 保護児童就学援助金

保護児童に対し、高校の学資に要する経費の一部を給付した。

援助金種別	内 容
就学援助金 141 名	給付額 4,160,000 円 月額 2,500 円
入学支度金 18 名	給付額 360,000 円

⑥教員免許特例法による介護等体験事業

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」により、小学校及び中学校の教諭の普通免許状取得希望者に社会福祉施設等での介護等体験が義務づけられていることから、社会福祉施設等での円滑な受け入れを推進するため、本会において受入調整事業を行った。

(ア) 申込状況

学校区分	申込大学等数	体験実施者数
大 学	17	463
短 期 大 学	1	1
合 計	18	464

(イ) 受入状況

種別	施設種別	施設数	体験者数
保護施設	救護施設	2	5
高齢者	養護老人ホーム	1	3
	特別養護老人ホーム	31	102
	老人デイサービスセンター	43	257
	有料老人ホーム	1	3
	介護老人保健施設	10	31
	小計	86	396
障 害	障害者支援施設	5	7
	知的障害者更生施設	3	4
	知的障害者授産施設	0	0
	生活介護事業	8	29
	就労移行支援事業	1	2
	就労継続支援事業	4	15
	地域活動支援センター	0	0
	身体障害者療護施設	0	0
	小計	21	57
児 童	乳児院	0	0
	児童養護施設	0	0
	児童デイサービス	2	3
	知的障害児通園施設	0	0
	重症心身障害児施設	0	0
	母子生活支援施設	1	3
	小計	3	6
合 計		112	464

(ウ) 介護等体験事業事前説明会

期日・場所等	内 容
5 月 29 日 高崎市 参加者 73 名	【育英大学・育英短期大学】 対象 学生（教員免許取得希望者）及び担当職員 講義「介護等体験の概要、意義、心構え、注意事項等」 講師 群馬県社会福祉協議会施設福祉課 課長 橋本 巧
8 月 1 日 高崎市 参加者 48 名	【高崎健康福祉大学】 対象 学生（教員免許取得希望者）及び担当職員 講義「介護等体験の概要、意義、心構え、注意事項等」 講師 群馬県社会福祉協議会施設福祉課 課長 橋本 巧
12 月 2 日 高崎市 参加者 14 名	【高崎商科大学】 対象 学生（教員免許取得希望者）及び担当職員 講義「介護等体験の概要、意義、心構え、注意事項等」 講師 群馬県社会福祉協議会施設福祉課 主任 今野 洋一

推進項目２ 市町村における総合的な相談支援体制の強化

（１）権利擁護体制の構築

日常生活自立支援事業及び成年後見制度の体制整備を推進しながら、制度の狭間の権利擁護課題を検討した。

①日常生活自立支援事業

（ア）事業実施体制の構築に向けた取組の推進

３５市町村社協に専門員を配置し、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等による支援を行った。

（ａ）事業実施体制

・相談件数

対象者	認知症	知的障害	精神障害	その他	合 計
件 数	9,808 件	9,814 件	16,277 件	3,453 件	39,352 件
構成比	25%	25%	41%	9%	100%

・契約締結人数

対象者	認知症	知的障害	精神障害	その他	合 計
件 数	154 件	47 件	60 件	0 件	261 件
構成比	59%	18%	23%	0%	100%

・解約人数

対象者	認知症	知的障害	精神障害	その他	合 計
件 数	126 件	35 件	51 件	0 件	212 件
構成比	59%	17%	24%	0%	100%

・実利用者数

対象者	認知症	知的障害	精神障害	その他	合 計
件 数	435 件	324 件	423 件	0 件	1,182 件
構成比	37%	27%	36%	0%	100%

（ｂ）契約締結審査会

本事業運営上の助言を得ることを目的として、委員５名（医師２名、弁護士１名、保健師１名、社会福祉士１名）による審査会を開催した。

期日・場所等	内 容
6 月 12 日 前橋市 参加者 8 名	(1) 委員の改選及び正副委員長の選出について (2) 令和 5 年度運営状況について (3) 令和 6 年度事業予定について (4) その他
12 月 11 日 前橋市 参加者 6 名	(1) 令和 6 年度運営状況について (2) 日常生活自立支援事業利用料について (3) その他

(イ) 巡回訪問

事業実施社協における本事業の適切な実施を図るため、事業を実施する社協 12 か所を訪問し、状況確認及び課題についての意見交換等を行った。

期日・場所等	内 容
5 月 16 日 安中市 5 月 24 日 高山村 6 月 18 日 川場村 6 月 18 日 昭和村 7 月 1 日 榛東村 7 月 1 日 吉岡町 7 月 17 日 高崎市 8 月 7 日 館林市 8 月 7 日 板倉町 8 月 20 日 沼田市 8 月 20 日 片品村 8 月 22 日 みなかみ町	1 趣旨説明 2 点検 (1) 実施体制について (2) 契約内容について (3) 解約後未返却のケースについて (4) 成年後見制度の取り組み状況について 3 情報交換

(ウ) 専門員会議

(a) 専門員連絡調整会議

期日・場所等	内 容
2 月 7 日 前橋市 参加者 40 名	1 報告・協議事項 (1) 県内における日常生活自立支援事業の状況について (2) 日常生活自立支援事業利用料について (3) 来年度（令和 7 年度）に向けた連絡事項等について (4) その他（質疑・応答） 2 情報交換 (1) 各市町村社協の日常生活自立支援事業の状況について (2) 日常生活自立支援事業利用料について (3) 日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行状況について (4) フリーテーマ

(b) 研修検討会

期日・場所等	内 容
11 月 8 日 (web 開催) 参加者 7 名	(1) 専門員新任者研修Ⅱについて (2) その他
1 月 14 日 前橋市 参加者 7 名	(1) 専門員新任者研修Ⅰについて (2) その他

(c) ブロック別専門員連絡会

期日・場所等	内 容
5 月 16 日 西部 (1 回目)	(1) 県社協より (連絡事項等) (2) 今年度の西部ブロック会議の体制について (3) 情報交換 (4) その他
5 月 24 日 吾妻 (1 回目)	(1) 各町村についての利用状況について (2) 情報共有 (悩みごとや困りごと) について (3) 研修検討委員の選出について (4) 次回専門員会議の開催について (5) その他
6 月 18 日 利根・沼田 (1 回目)	(1) 各社協の日常生活自立支援事業の状況について (2) その他
6 月 19 日 中部 (1 回目)	(1) 県社協より (連絡事項) (2) 各市町村社協の日常生活自立支援事業の状況について (3) 情報交換 (4) その他
7 月 5 日 利根・沼田 (2 回目)	(1) 事業概要説明 (2) みなかみ町成年後見サポートセンター開所記念講演 (3) 質疑応答
7 月 26 日 吾妻 (2 回目)	(1) 各町村の利用状況について (2) 今後の会議の内容・頻度等について (3) 情報交換会
8 月 7 日 東部 (1 回目)	(1) 県社協より (連絡事項等) (2) 今年度の東部ブロック会議の体制について (3) 情報交換会 (4) その他
9 月 26 日 西部 (2 回目)	(1) 事例検討 (2) 情報交換 (3) その他
10 月 21 日 中部 (2 回目)	(1) 各市町村社協の日常生活自立支援事業の状況について (2) 事例検討会 (3) その他
10 月 23 日 利根・沼田 (3 回目)	(1) 先進地視察研修 (深谷市社会福祉協議会)
10 月 24 日 吾妻 (3 回目)	(1) 各町村の利用状況について (2) 事例検討 (3) 情報共有 (困りごと・悩みごと・成年後年含む) (4) その他

期日・場所等	内 容
1 月 20 日 吾妻 (4 回目)	(1) 各町村の利用状況について (2) 法人後見について (3) 情報共有 (4) その他
1 月 24 日 西部 (3 回目)	(1) 情報交換（運営適正化委員会訪問による報告事項等） (2) その他
1 月 27 日 利根・沼田 (4 回目)	(1) 日常生活自立支援事業に係る利用料について (2) 各社協の活動状況について (3) 困難事例について (4) 法人後見事業について (5) その他
2 月 17 日 中部 (3 回目)	(1) 県社協より（連絡事項） (2) 各市町村社協の日常生活自立支援事業の状況について (3) 事例検討会 (4) その他
2 月 18 日 東部 (2 回目)	(1) 各社協からの協議題に基づく情報交換 (2) その他

(エ) 専門員研修

専門員及び一般社協の担当者を対象に、利用者支援に必要な知識を習得し、資質の向上を図るとともに、支援の充実に資することを目的とする研修を開催した。

(a) 専門員新任者研修Ⅰ

期日・場所等	内 容
5 月 22 日 前橋市 参加者 31 名	「日常生活自立支援事業の概要説明」 講師 群馬県社会福祉協議会地域福祉課 主事 小宅 瑞穂 「先輩専門員から学ぶ実務および専門員像」 講師 草津町社会福祉協議会 専門員 土屋 結紀 「先輩専門員から学ぶ面接方法」 講師 前橋市社会福祉協議会 専門員 林 江利子 情報交換（グループ協議）

(b) 専門員新任者研修Ⅱ

期日・場所等	内 容
1 月 14 日 前橋市 参加者 29 名	「事例報告 1」 講師 みどり市社会福祉協議会 専門員 齋藤 真也 グループ検討（事例報告に対する感想、意見交換、情報交換） 「事例報告 2」 講師 上野村社会福祉協議会 専門員 田中 重昭 グループ検討（事例報告に対する感想、意見交換、情報交換）

(c) 専門員等研修会

期日・場所等	内 容
2 月 27 日 (web 開催) 参加者 53 名	講義「越谷市社会福祉協議会における身寄りのない高齢者に対する 取組『みまもり・あんしん事業』について」 講師 越谷市社会福祉協議会 生活支援課 成年後見センター所長 染谷 優太 講義「持続可能な権利擁護支援モデル事業について」 講師 群馬県健康福祉部福祉局地域福祉課 主任 菅原 悠太郎

(オ) 関係機関連絡会議

構成員 39 機関に対して、書面により報告を行った。

期日・場所等	内 容
10 月 16 日 (書面開催) 39 機関	・事業実施状況の報告 ・構成員の確認

(カ) 利用料助成

住民税非課税世帯及び生活保護世帯の福祉サービス利用支援の機会を確保するため、住民税非課税世帯の者に対する利用料の助成及び生活保護世帯の者に対する利用料の助成を実施した。

※非課税世帯への助成金：1 時間当たり 500 円

(内訳：県 125 円、県社協 125 円、市町村 250 円)

※生活保護世帯への助成金：1 時間あたり 1,200 円 (内訳：国 600 円、県 600 円)

※非課税世帯への助成は、平成 13 年度県・市町村補助事業として創設

(a) 令和 6 年度非課税世帯利用料助成金交付状況 (県・県社協分)：2,028,625 円

②成年後見制度の利用促進

(ア) 成年後見制度研修事業

(a) 成年後見制度普及啓発セミナー

成年後見制度の利用促進を図るため、支援者等を対象にしたセミナーを動画配信により開催した。

期日・場所等	内 容
12 月 2 日～ 3 月 21 日 (動画配信) ①視聴回数：312 回 ②視聴回数：157 回 ③視聴回数：146 回	・「成年後見制度の基礎 ～支援者として押さえておくべきポイント！～」 講師 群馬弁護士会 弁護士 板橋 俊幸 ・「支援者成年後見制度利用検討のポイント」 ・「成年後見人等選任後チーム支援を行う際の 医療・福祉関係者の担う役割」 講師 群馬県社会福祉士会 ぱあとなあ群馬 社会福祉士 内山 恵子

(b) 行政職員等研修

市町村や中核機関における相談対応や権利擁護ネットワークの構築等の実務能力の向上等を目的とした研修をオンラインにより開催した。

期日・場所等	内 容
9 月 13 日 (web 開催) 参加者 60 名	行政説明「群馬県内の中核機関整備状況等」 説明 群馬県健康福祉部福祉局地域福祉課 主任 菅原 悠太郎 県社協説明「市町村社協における身寄りのない高齢者等への支援について」 説明 群馬県社会福祉協議会地域福祉課 主事 小宅 瑞穂 講義「坂井市における包括的支援体制について」 講師 坂井市役所健康福祉部 福祉総合相談課 社会福祉士 斉藤 正晃 坂井市役所健康福祉部 高齢福祉課 主任 高塚 陽子 講義「受任調整のしくみづくりについて」 講師 唐津市地域包括支援センター 係長 杵島 浩介 講師 唐津市成年後見サポートセンター 唐津市社会福祉協議会 主事 下田 貴大

(c) 法人後見専門員養成研修

成年後見制度が他の支援制度とともに一体的に運用されることや、持続的な権利擁護支援体制の構築を目的に法人後見専門員等を対象にした研修をオンラインにより開催した。

期日・場所等	内 容
1 日目 6 月 13 日 (web 開催) 参加者 28 名	講義「成年後見制度の基礎」 講師 群馬弁護士会 高齢者障害者支援センター 副委員長 板橋 俊幸
2 日目 6 月 19 日 (web 開催) 参加者 28 名	講義「成年後見の実務」 講師 前橋家庭裁判所 主任書記官 近藤 亜由美 主任書記官 中曽根 惇史 講義「民法の基礎」 講師 群馬弁護士会 高齢者障害者支援センター 副委員長 板橋 俊幸
3 日目 6 月 21 日 (web 開催) 参加者 27 名	講義「成年後見人実践報告」 講師 社会福祉士事務所はあとらんど所長 社会福祉士 大矢 和則 講義「法人後見人実践報告」 講師 おおた成年後見支援センター 所長 須永 良一

(d) 意思決定支援研修

意思決定支援の重要性や考え方などについて共通理解を目的に、成年後見制度及び関連する支援制度による支援者等を対象にした研修を動画配信により開催した。

期日・場所等	内 容
11月1日～ 3月21日 (動画配信) ①視聴回数：321回 ②視聴回数：238回	・「意思決定支援を踏まえた後見事務のガイドラインの解説」 講師 新潟大学法学部 教授 上山 泰 ・「意思決定支援の実践」 講師 日本相談支援専門員協会 顧問 菊本 圭一

(イ) 情報交換会

(a) 群馬県成年後見制度利用促進協議会

期日・場所等	内 容
7月4日 前橋市 参加者 17名	・説明・情報交換 (1) 中核機関整備状況について (2) 成年後見制度関係調査について (3) 受任調整について (4) その他
1月29日 前橋市 参加者 17名	・説明・情報交換 (1) テーマ別市町村情報交換会の概要報告について (2) 来年度以降の県事業予定について (3) 担い手の育成方針について (4) その他

(ウ) 法人後見立ち上げ支援

法人後見を安定的に実施するための組織体制の構築や法人後見活動を推進するために必要な事業実施等といった法人後見運営・立ち上げに関する相談・支援を行った。

(a) 法人後見立ち上げに向けた準備会・研修会及び運営委員会等での説明・助言

期日・場所等	内 容
藤岡市	運営委員会における説明・助言 (1回)
長野原町	運営委員会における説明・助言 (1回)
草津町	運営委員会における説明・助言 (1回)
片品村	運営委員会における説明・助言 (1回) 運営委員会への資料提供 (1回)
昭和村	運営委員会における説明・助言 (2回)
みなかみ町	運営委員会における説明・助言 (2回)

(エ) 成年後見制度市町村体制整備支援機能強化(アドバイザー派遣)事業

市町村における実効性のある権利擁護支援体制の構築のため、連携が求められている専門職等を市町村へ派遣し、体制整備支援を行った。

期日・場所等	内 容
6 月 6 日 (web 開催) 参加者 9 名	・事前打合せ (1) 家裁説明「第二期基本計画における権利擁護支援の地域連携 (ネットワークの中心としてのコーディネート役を担う 中核機関含む)の機能と機能強化の取組について」 説明 前橋家庭裁判所 主任書記官 中曽根 惇史 (2) 行政説明「アドバイザー派遣の目的と 県内の中核機関等の状況」 説明 群馬県健康福祉部福祉局地域福祉課地域福祉係 主任 菅原 悠太郎 (3) 県社協事務説明「アドバイザー派遣の事務について」 説明 群馬県社会福祉協議会地域福祉課 主任 金澤 朋子 (4) 情報共有「地域連携ネットワーク・中核機関の 設置に向けて」
8 月 22 日 沼田市	(1) 市直営の地域包括支援センター及び中核機関受託・法人後見 実施社協として申立て支援や後見人としての支援等実務につ いて (2) 事例を交えた困難ケースや相談機関との連絡調整方法とその 手法について アドバイザー 安中市地域包括支援センター 若井 康文 安中市社会福祉協議会 中山 博史

(オ) 圏域別の情報交換会

県内 5 県域及びテーマ別で成年後見制度利用促進に関する情報交換会を開催し、市町村間の情報共有を図った。

・第 1 回

期日・場所等	内 容
5 月 10 日 (中之条町)	(1) 説明 ①中核機関整備状況について ②成年後見制度関係調査について ③その他 (2) 情報交換 ①事例検討 ②その他
5 月 15 日 (太田市)	
5 月 23 日 (前橋市)	
5 月 30 日 (沼田市)	
6 月 24 日 (富岡市)	

・第2回

期日・場所等	内 容
12 月 17 日 (web 開催)	「市民後見人や法人後見等の担い手の育成、確保」 (1) 説明 令和7年度県事業予定について (2) 情報交換
12 月 20 日 (web 開催)	「広報機能（制度・窓口の周知方法、住民向け説明会、 支援者説明会・研修会）」 (1) 説明 令和7年度県事業予定について (2) 情報交換
12 月 25 日 (web 開催)	「相談機能（相談受付、アセスメント、支援方針の決定）」 (1) 説明 令和7年度県事業予定について (2) 情報交換
1 月 10 日 (web 開催)	「協議会」 (1) 説明 令和7年度県事業予定について (2) 情報交換
1 月 22 日 (web 開催)	「地域連携ネットワークの形成、 専門職や家庭裁判所その他地域資源との連携」 (1) 説明 令和7年度県事業予定について (2) 情報交換

(カ) 中核機関未設置市町村に対する伴走支援及び中核機関未設置市町村における市町村社協との連携促進

中核機関未設置市町村を訪問し、状況の聴き取りや中核機関の設置を促すとともに、疑問点の解消や資料の提供等の支援を行った。また、受託の可能性がある市町村社協に対して市町村との連携強化を支援した。

期日	訪問市町村・社協
6 月 27 日	上野村・上野村社会福祉協議会
7 月 1 日	榛東村・榛東村社会福祉協議会
7 月 12 日	南牧村・南牧村社会福祉協議会
7 月 18 日	藤岡市・藤岡市社会福祉協議会

③制度の狭間の権利擁護課題の検討

(ア) 権利擁護課題検討会

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりの推進に向けて、死後事務や入所・入院時の身元保証・身元引受等、日常生活自立支援事業や成年後見制度等の既存の制度で対応が困難な課題の検討を行うことを目的に権利擁護課題検討会を実施した。

期日・場所等	内 容
9 月 6 日 前橋市 参加者 8 名	1 協議 (1) 市町村社協における死後事務・身元保証の事業化について (2) その他

(2) 生活困窮者等への支援

生活にお困りの方の状況に応じて、関係機関と連携した横断的支援を推進するとともに、ひきこもり状態にある方に対する相談体制の整備等相談窓口の充実を図った。

①生活にお困りの方への相談支援

(ア) 23町村における生活困窮者に対する相談支援体制の強化

8か所の支所社協と県社協でコンソーシアム（共同事業体）協定を結び、群馬県より群馬県生活困窮者自立相談支援事業を受託して、県内23町村における生活困窮者支援のための相談支援を行った。

期日・場所等	内 容
通年 町村部	新規相談受付件数 619 件 自立相談支援事業申込件数 182 件 自立支援プランの作成 235 件

(a) 生活困窮者の発見と把握

・生活・就労・住まいの相談会

町村役場、町村社協、ハローワーク等と協働して、生活困窮者の相談に応じるワンストップの相談会を23町村において実施した。

町村名	期日	会場
榛東村	10 月 23 日	しんとうふれあいセンター
吉岡町	10 月 31 日	吉岡町役場
上野村	9 月 3 日	上野村総合福祉センター
神流町	8 月 29 日	神流町役場
下仁田町	10 月 10 日	下仁田町役場
南牧村	10 月 24 日	南牧村役場
甘楽町	8 月 28 日	にこにこ甘楽
中之条町	11 月 7 日	中之条町役場
長野原町	10 月 15 日	長野原町役場
嬭恋村	11 月 18 日	嬭恋村役場
草津町	9 月 27 日	草津町役場
高山村	9 月 10 日	高山村保健福祉センター
東吾妻町	9 月 9 日	東吾妻町役場
片品村	10 月 25 日	片品村役場
川場村	① 6 月 21 日 ② 12 月 13 日	川場村役場
昭和村	2 月 6 日	昭和村役場
みなかみ町	2 月 27 日	みなかみ町保健福祉センター
玉村町	1 月 30 日	玉村町社会福祉協議会
板倉町	8 月 22 日	板倉町役場

町村名	期日	会場
明和町	9 月 4 日	明和町役場
千代田町	9 月 5 日	千代田町総合保健福祉センター
大泉町	8 月 26 日	大泉町保健福祉総合センター
邑楽町	8 月 1 日	邑楽町役場

- ・町村民生委員・児童委員への事業説明・調査

23 町村の各定例会に出向いて生活困窮者支援の啓発や事業説明及び生活困窮者の状況等に関するアンケート調査等を実施した。

- ・関係機関への巡回訪問

随時、町村役場、町村社協、ハローワーク、保健福祉事務所等の関係機関を訪問し、情報収集や事業の再周知・理解促進及び共通認識を図った。

(b) 相談支援員連絡会議

期日・場所等	内 容
4 月 19 日 6 月 17 日 8 月 5 日 10 月 2 日 12 月 10 日 3 月 4 日 (全日 前橋市)	支所社協相談支援員の情報交換と資質向上を図ることを目的に開催した。 内容 : 全体会議、事務調整、ケース検討、情報交換、勉強会 出席者 : 支所社協相談支援員、県地域福祉課担当者、県社協

(c) 主任相談支援員及び相談支援員の資質向上

- ・主任相談支援員初任者研修の受講（県社協 1 名）
- ・相談支援員初任者研修の受講（県社協 1 名、支所 2 名受講）
- ・関東・甲信越ブロック研修（web 研修）の受講（県社協 7 名、支所 4 名受講）
- ・一時生活支援事業支援員初任者研修（web 研修）の受講（県社協 2 名受講）
- ・就労支援員・就労準備支援事業支援員初任者研修（web 研修）の受講（県社協 3 名受講）
- ・家計改善支援事業支援員初任者研修（web 研修）の受講（県社協 3 名受講）
- ・テーマ別（孤独・孤立の理解とアウトリーチ相談支援）研修（web 研修）の受講（県社協 1 名、支所 1 名受講）
- ・テーマ別（若年層が抱える課題とその支援）研修（web 研修）の受講（支所 2 名受講）

(d) 一時生活支援事業の実施

一定の住居を持たない生活困窮者に対し、一定の期間に限り、宿泊場所の供与、食事の提供等を行った。

利用件数 9 件 (26 泊)

- (e) 関係機関連絡会議、自立相談支援機関との情報交換会等
・関係機関連絡会議

期日・場所等	内 容
7月12日 前橋市 参加者 17 名	中部ブロック ・状況説明、報告 ・情報交換「居住支援、地域における困窮者支援等」
7月25日 富岡市 参加者 25 名	多野・甘楽ブロック ・状況説明、報告 ・情報交換「居住支援、地域における困窮者支援等」
7月2日 長野原町 参加者 32 名	吾妻ブロック ・状況説明、報告 ・情報交換「居住支援、地域における困窮者支援等」
7月22日 沼田市 参加者 26 名	利根ブロック ・状況説明、報告 ・情報交換「居住支援、地域における困窮者支援等」
7月4日 邑楽町 参加者 27 名	邑楽ブロック ・状況説明、報告 ・情報交換「居住支援、地域における困窮者支援等」

- ・自立相談支援機関情報交換会

期日・場所等	内 容
10月2日 前橋市 参加者 40 名	・説明「群馬県地域生活定着支援センター」ほか ・情報交換「事業実施上の課題と取組について」

- (f) 関係機関との連携

覚書を交わした県内フードバンクと、生活困窮者への緊急支援を実施した。

- ・NPO法人 三松会（館林市） 利用数 6 件

- (g) 民間企業との連携

民間企業と、生活困窮者への緊急支援を実施した。

- ・大黒食品工業株式会社（玉村町） 利用数 4 件
・セイワ食品（高崎市） 利用数 1 件

- (イ) ひきこもり状態の方への訪問支援やメール相談及びサロンの開設

- (a) 無料メール相談

県社協ホームページ内にメールフォームを開設し新規相談の掘り起こしを図った。

- ・相談対応延べ件数 12 件

- (b) 電話相談、来所相談（傾聴）、出張相談

- ・電話相談対応延べ件数 28 件
・来所相談対応延べ件数 33 件
・出張相談対応延べ件数 9 件

(c) オンラインサロン

- ・当事者オンラインサロン開催延べ回数 39 回
- ・支援者オンラインサロン開催延べ回数 30 回

(d) 居場所提供の協力

ひきこもり状態にある方及びその家族に対し、傾聴の機会や居場所の提供を行くことにより、つながりの場を確保するとともに社会参加の促進を図った。

- ・(多野郡・甘楽町) 下仁田町 12 回
- ・(吾妻郡) 長野原町 12 回

(ウ) 居住支援事業

県居住支援協議会等に参画するとともに、県より居住支援法人の指定を受け、生活困窮者に対し相談支援を実施した。

相談対応	61 件
------	------

(a) 群馬県居住支援協議会（群馬県主催）への参加

総会 1 回、伊勢崎市部会 3 回

(b) 緊急連絡先確保支援事業

住宅要配慮者の入居支援事業として実施体制を整えた。 利用実績 0 件

(エ) 広域就労準備支援事業・家計改善支援事業

(a) 広域就労準備支援事業

県内 7 市と 23 町村における生活困窮者自立支援事業利用者・生活保護受給者の中で、就労に向け一定の準備が必要な方に対し、日常生活習慣の改善等の相談支援を実施した。

利用人数	153 人
支援件数	343 件
プラン件数	42 件

(b) 広域家計改善支援事業

県内 8 市と 23 町村における生活困窮者自立支援事業利用者・生活保護受給者の中で、家計の状況を把握し、家計管理の意欲を引き出す相談支援を実施した。

利用人数	196 人
支援件数	290 件
プラン件数	50 件

②関係機関・団体等との連携強化

(ア) 民生委員・児童委員の活動支援

(a) 1期目民生委員・児童委員研修会（応用編）

期日・場所等	内 容
8月28日・29日 (2回開催) 前橋市 参加者1,679名	講義「“地域のつむぎ役”となろう！」 講師 合同会社 泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造

(b) 単位民児協会長研修会

期日・場所等	内 容
9月12日～13日 渋川市 参加者171名	講義「一斉改選に向けた会長の役割と民児協運営について」 講師 ルーテル学院大学 名誉教授 市川 一宏

③生活福祉資金貸付事業

(ア) 資金貸付と自立支援の充実

市町村社協や自立相談支援機関、民生委員・児童委員等との連携により、生活福祉資金貸付事業を実施し、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図った。

(a) 貸付件数等の状況 別表1・2を参照

(b) 償還免除状況

・本則貸付

資金種類	件数	金額（円）		
		貸付元金	貸付利子	延滞利子
生活福祉資金	11	2,057,803	101,465	3,935,870

・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた緊急小口資金等の特例貸付

年度	件数	金額（円）
令和4年度	12,156	3,973,041,130
令和5年度	4,106	1,635,621,655
令和6年度	4,141	1,752,441,444

(c) 償還猶予状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた緊急小口資金等の特例貸付

年度	件数
令和4年度	398
令和5年度	739
令和6年度	1,102

(d) 生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催

期日・場所等	内 容
3月19日 前橋市 参加者14名	・償還・延滞利子の免除・償還猶予について ・通常貸付状況について ・特例貸付におけるフォローアップ支援について ・連帯保証人による延滞利子の支払い免除について ・不動産担保型生活資金における担保物件について

(e) 市町村社協事務局長等会議の開催

期日・場所等	内 容
3月6日 前橋市 参加者52名	・特例貸付における会計検査院の意見表示に係る厚労省通知について ・特例貸付におけるフォローアップ支援について ・令和7年度以降の特例貸付にかかる事務委託費について ・支援情報共有ツールの導入について

(f) 市町村社協担当者研修会の開催

期日・場所等	内 容
9月30日 前橋市 (集合&web開催) 参加者42名	・研修① 生活福祉資金貸付事業（コロナ特例含む）の運営状況について ・研修② 生活福祉資金貸付事業の概要説明について ・情報交換（グループに分かれて情報交換）

(イ) 債権・償還管理体制の充実

(a) 生活福祉資金貸付事業債権管理強化

生活福祉資金（本則）貸付後の債権管理を適切に実施するため、「群馬県生活福祉資金貸付事業債権管理要領」に基づき、滞納世帯等に対し債権管理を強化実施した。

- ・督促状の発行 4回
- ・催告書の発行 11回 109件
- ・訪問活動（償還指導） 20社協 86日 780件

④ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

(ア) 入学準備金、就職準備金、住宅支援資金の貸付

就職に有利な資格の取得を目指す県内のひとり親家庭の親等に対し、自立を促進するため、貸付事業を実施した。

(a) 貸付件数・金額

資金種類	件数	金額（円）
入学準備金	9	4,357,000
就職準備金	0	0
住宅支援資金	6	1,287,200
合 計	15	5,644,200

(b) 入学準備金・就職準備金面接審査

期日・場所等	内 容
6 月 4 日 前橋市 参加者 3 名	・ 貸付制度及び貸付金額の確認 ・ 申請者の状況確認
6 月 6 日 前橋市 参加者 6 名	・ 貸付制度及び貸付金額の確認 ・ 申請者の状況確認
6 月 7 日 前橋市 参加者 1 名	・ 貸付制度及び貸付金額の確認 ・ 申請者の状況確認
6 月 18 日 前橋市 参加者 2 名	・ 貸付制度及び貸付金額の確認 ・ 申請者の状況確認

令和6年度 生活福祉資金貸付状況一覧（月別）

資金の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考														
	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円														
総合支援資金	0	0	0	1	402,000	0	0	1	264,000	0	0	0	0	0	2	662,000	6	1,593,000										
生活支援費			1	402,000							1	240,000				1	450,000	4	1,356,000									
住宅入居費																		0	0									
一時生活再建費											1	25,000				1	212,000	2	237,000									
福祉資金	9	1,195,000	12	903,000	15	1,214,000	15	1,270,000	17	1,633,000	8	572,000	10	1,732,000	5	481,000	13	1,515,000	6	2,223,000	5	1,003,000	11	1,637,000	126	15,378,000		
福祉費	2	746,000	3	237,000	4	225,000	5	458,000	6	890,000	5	272,000	3	1,217,000	2	181,000	4	855,000	2	2,040,000	3	881,000	3	1,033,000	42	9,035,000		
緊急小口資金	7	449,000	9	666,000	11	989,000	10	812,000	11	743,000	3	300,000	7	515,000	3	300,000	9	660,000	4	183,000	2	122,000	8	604,000	84	6,343,000		
復興支援資金																									0	0		
教育支援資金	4	3,600,000	0		0	2	2,966,000	2	1,489,000	3	6,560,000	0	0	4	1,877,000	16	15,980,000	13	10,070,000	6	4,708,000	32	23,703,800	19	9,182,000	101	80,135,800	
支援費・支度費													2	1,492,000	16	15,980,000	12	9,630,000	6	4,708,000	26	21,321,800	14	5,523,000	76	58,654,800		
教育支援費	2	3,244,000			2	2,966,000	1	1,365,000	3	6,560,000			2	385,000								2	965,000	1	2,340,000	13	17,825,000	
就学支度費	2	356,000				1	124,000										1	440,000				4	1,417,000	4	1,319,000	12	3,656,000	
不動産担保型生活資金																										0	0	
(要)不動産担保型生活資金						1	3,640,000																			1	3,640,000	
臨時特例つなぎ資金																										0	0	
計	13	4,795,000	12	903,000	18	4,582,000	18	6,399,000	21	8,457,000	8	572,000	14	3,609,000	21	16,461,000	28	11,850,000	12	6,931,000	37	24,706,800	32	11,481,000	234	100,746,800		

※決定ベース（辞退前）

令和6年度 生活福祉資金貸付状況一覧（市町村別）

別表2

	総合支援資金				福祉資金				教育支援資金				不動産担保型生活資金				臨時特例つなぎ資金				合計		備考
	生活支援費		住宅入居費		一時生活再建費		福祉費		緊急小口資金		生活復興支援資金		教育支援資金		不動産担保型生活資金		臨時特例つなぎ資金		円	円			
	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	件	円					
前橋市	0	0	0	0	0	15	2,144,000	11	307,000	0	0	3	2,285,000	0	0	0	0	29	4,736,000				
高崎市	2	852,000	0	0	1	212,000	13	2,647,000	21	2,030,000	0	40	48,273,800	0	0	0	0	77	54,014,800				
桐生市	1	264,000	0	0	0	0	0	4	260,000	0	0	3	1,750,000	0	0	0	0	8	2,274,000				
伊勢崎市	0	0	0	0	0	0	1	2,000,000	0	0	0	4	2,277,000	0	0	1	3,640,000	6	7,917,000				
太田市	0	0	0	0	0	0	0	0	2	130,000	0	7	3,652,000	0	0	0	0	9	3,782,000				
沼田市	0	0	0	0	0	0	2	449,000	4	400,000	0	5	4,266,000	0	0	0	0	11	5,115,000				
館林市	0	0	0	0	0	0	2	69,000	2	200,000	0	9	4,090,000	0	0	0	0	13	4,359,000				
渋川市	0	0	0	0	0	0	1	60,000	0	0	0	2	573,000	0	0	0	0	3	633,000				
藤岡市	1	240,000	0	0	1	25,000	1	40,000	4	380,000	0	5	1,525,000	0	0	0	0	12	2,210,000				
富岡市	0	0	0	0	0	0	1	73,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	73,000				
安中市	0	0	0	0	0	0	3	854,000	10	561,000	0	9	3,503,000	0	0	0	0	22	4,918,000				
みどり市	0	0	0	0	0	0	0	0	7	273,000	0	2	965,000	0	0	0	0	9	1,238,000				
榛東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
吉岡町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
神流町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
上野村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
下仁田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
南牧村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
甘楽町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	200,000	0	0	0	0	0	0	0	2	200,000				
中之条町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	172,000	0	0	0	0	0	0	0	2	172,000				
長野原町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000				
嬬恋村	0	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	1	100,000				
草津町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
高山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
東吾妻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,033,000	0	0	0	0	2	1,033,000				
片品村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
川場村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
みなかみ町	0	0	0	0	0	0	1	550,000	1	100,000	0	0	0	0	0	0	0	2	650,000				
玉村町	0	0	0	0	0	0	0	0	7	680,000	0	1	124,000	0	0	0	0	8	804,000				
板倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	756,000	0	0	0	0	1	756,000				
明和町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	150,000	0	0	0	0	0	0	0	2	150,000				
千代田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
大泉町	0	0	0	0	0	0	2	149,000	3	300,000	0	8	5,063,000	0	0	0	0	13	5,512,000				
邑楽町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
合計	4	1,356,000	0	0	2	237,000	42	9,035,000	84	6,343,000	0	101	80,135,800	0	0	1	3,640,000	0	234	100,746,800			

※決定ベース（辞退前）

⑤児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業

(ア) 生活支援費、家賃支援費、資格取得支援費の貸付

県内の児童養護施設等に入所中又はこれらを退所した者、及び里親等に委託中、又は委託を解除された者で、就職や大学等への進学をしたが、保護者からの経済的支援を受けられない等の理由により生活基盤の確保が困難な状況である者に対し、自立を支援するため貸付事業を実施した。

資金種類	件数	金額（円）
生活支援費	3	1,350,000
家賃支援費	4	1,261,035
資格取得費	0	0
合 計	7	2,611,035

(3) 社会福祉法人等の連携強化

県域、市町村域、法人単位で「地域における公益的な取組」など社会福祉法人の連携を進めた。また、福祉サービスの質の向上に向けて、第三者評価事業、運営適正化委員会を実施した。

①地域における公益的な取組の推進

(ア) 各法人単位の取組への支援

社会福祉法人の地域における公益的な取組に関する支援を行った。

(a) 群馬県ふくし総合相談支援事業

なんでも福祉相談員の設置、研修や相談窓口設置を通じて、社会福祉法人の地域における公益的な取組の支援を行った。

(b) 法人（施設）訪問

各法人独自の取り組みの把握、未実施法人への情報提供等を目的に、約 170 か所の法人（施設）を訪問した。

(c) 現況報告書における「地域における公益的な取組」の調査

○令和5年度未記載法人を対象調査

全ての法人で現況報告書に「地域における公益的な取組」が記載されるよう、令和6年度現況報告作成の時期に調査（124 法人対象）を実施した。

○群馬県ふくし総合相談支援事業参加法人対象調査

参加 190 法人の令和6年度現況報告書の記載内容を調査した。

②市町村域における社会福祉法人間のネットワーク体制の整備

(ア) 市町村法人連絡会等の設立支援

6 市町村設立（安中市、上野村、神流町、甘楽町、片品村、玉村町）

(イ) 市町村法人連絡会等の情報提供など運営支援

(a) 状況調査

設立済の法人連絡会の状況を把握と今後の支援策の検討をするため、14 市町村社協を対象に調査をした。

③県域における社会福祉法人間のネットワーク体制の整備

(ア) 群馬県ふくし総合相談支援事業の実施

(a) 参加法人・なんでも福祉相談員

参加法人 190 法人 (前年度から 9 法人増)

相談員 466 名 (前年度から 38 名増)

(b) 運営委員会

期日・場所等	内 容
2 月 26 日 前橋市 参加者 14 名	・令和 6 年度の実施状況について ・令和 7 年度の事業の実施について

(c) 新任・基礎研修

期日・場所等	内 容
8 月 26 日～ 11 月 30 日 (動画配信) 参加者 47 名	【新任者研修】 事務局説明「なんでも福祉相談事業について」 講義「社会福祉法人に求められる地域化」 講師 東京福祉大学 社会福祉学部 准教授 北爪 克洋 実践事例発表 ①「済生会前橋病院」 発表者 社会福祉法人済生会済生会前橋病院 医療相談員 池田 瑞保 ②「児童家庭支援ホーム希望館」 発表者 社会福祉法人希望館 児童家庭支援ホーム希望館 相談員 箱田 久美子
8 月 26 日～ 10 月 31 日 (動画配信) 参加者 80 名	基礎研修 ・「小規模多機能居宅介護について」 講師 社会福祉法人グリーンハート タマビレッジ 相談員 元木 博之 ・「就労継続 B 型事業所について」 講師 社会福祉法人すてっぷ わーくはうすすてっぷ 管理者 坂柳 幸子 ・「児童養護施設について」 講師 社会福祉法人子持山福祉会 子持山学園 家庭支援専門相談員 安井 剛 ・「居住支援法人について」 講師 社会福祉法人協同福祉会 理事長 新井 浩之

(d) 地区別連絡会議・研修会

期日・場所等	内 容
11 月 6 日 大泉町 参加者 14 名	講義（事例検討）と情報交換 「なんでもふくし相談員に期待すること」 講師 東京福祉大学 社会福祉学部 准教授 北爪 克洋

期日・場所等	内 容
11 月 15 日 渋川市 参加者 29 名	講義（事例検討）と情報交換 「なんでもふくし相談員に期待すること」 講師 東京福祉大学 社会福祉学部 准教授 北爪 克洋
11 月 20 日 前橋市 参加者 32 名	講義（事例検討）と情報交換 「なんでもふくし相談員に期待すること」 講師 東京福祉大学 社会福祉学部 准教授 北爪 克洋
11 月 22 日 高崎市 参加者 24 名	講義（事例検討）と情報交換 「なんでもふくし相談員に期待すること」 講師 東京福祉大学 社会福祉学部 准教授 北爪 克洋

（e）・スキルアップ研修・つながりサポーター養成講座

期日・場所等	内 容
2 月 7 日 みどり市 参加者 16 名	「孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会を目指して」 講師 群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員会委員 社会福祉法人みどり市社会福祉協議会 課長補佐兼係長 星野 真衣
2 月 13 日 高崎市 参加者 18 名	「孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会を目指して」 講師 群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員会委員 社会福祉法人甘楽町社会福祉協議会 所長兼係長 山田 剛

（f）なんでも福祉相談出張相談

期日・場所等	内 容
5 月 3 日 伊勢崎市	グリーンフェスタ 2024 相談員 7 名（伊勢崎・佐波） 相談 2 件
5 月 19 日 伊勢崎市	あったかぐんまのハートバザール 相談員 4 名（伊勢崎・佐波） 相談 2 件
7 月 7 日 みどり市	福祉マルシェ in つばさ 相談員 8 名（桐生・みどり） 相談 1 件
10 月 20 日 吉岡町	だれでもフェスタ 2024 相談員 6 名（渋川・北群馬） 相談 0 件
10 月 27 日 高崎市	芋煮会 相談員 11 名（高崎） 相談 0 件
11 月 2 日 伊勢崎市	東京福祉大学フェス 相談員 8 名（伊勢崎・佐波） 相談 0 件
11 月 9 日 渋川市	チャリティーバザー 相談員 3 名（渋川・北群馬） 相談 0 件
11 月 10 日 渋川市	つながるフェスティバル 相談員 5 名（渋川・北群馬） 相談 0 件
11 月 17 日 渋川市	塚沢小ふれあい祭り 相談員 2 名（高崎） 相談 0 件

期日・場所等	内 容
11 月 23 日 藤岡市	ふじおかふれあいフェスタ 相談員 4 名（藤岡） 相談 3 件
12 月 11・12 日 伊勢崎市	あったかぐんまのハートバザール 相談員 5 名（伊勢崎・佐波） 相談 8 件
1 月 25 日 前橋市	認知症トゥギャザー 相談員 5 名 相談 17 件

（g）事業推進委員会

期日・場所等	内 容
9 月 30 日 前橋市 委員 18 名	・令和 6 年度群馬県ふくし総合相談支援事業について ・なんでも福祉相談事業における孤独・孤立対策への貢献の方針について
1 月 31 日 前橋市 委員 17 名	・令和 6 年度の実施状況について ・令和 7 年度の事業実施について

（イ）孤立・孤独対策の推進

（a）県社協部会・分科会構成団体代表者会議

期日・場所等	内 容
2 月 21 日 前橋市 参加者 29 名	講義「孤独・孤立対策と種別協議会への期待」 講師 東京福祉大学 社会福祉学部 准教授 北爪 克洋 説明「『官民連携プラットホーム』の取り組みについて」 「『つながりサポーター』養成の取り組みと今後の展開について」 意見交換 情報交換会

（b）つながりサポーター養成講座（再掲）

期日・場所等	内 容
2 月 7 日 みどり市 参加者 16 名	「孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会を目指して」 講師 群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員会委員 社会福祉法人みどり市社会福祉協議会 課長補佐兼係長 星野 真衣
2 月 13 日 高崎市 参加者 18 名	「孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会を目指して」 講師 群馬県ふくし総合相談支援事業 事業推進委員会委員 社会福祉法人甘楽町社会福祉協議会 所長兼係長 山田 剛

④社会福祉法人等の経営基盤の強化

(ア) 経営相談事業

社会福祉法人及び社会福祉施設の適正かつ安定的な経営と適切な利用者処遇の向上を目指して、経営指導員と連携して事業を実施した。

経営指導員：税理士、社会保険労務士

相談内容	件数
1 入所者処遇	0
2 施設経営一般	14
3 職員処遇	4
4 会計・税務	14
5 安全・防災	3
6 衛生管理	0
7 施設整備	1
8 人材確保対策	4
9 労使問題	0
10 預り金	0
11 地域交流	5
12 その他	0
合 計	45

③福祉サービスの質の向上に向けた取組

(ア) 福祉サービス第三者評価事業

福祉サービスの質の向上を目指し、第三者評価事業に取り組んだ。

(a) 福祉サービス評価推進センターぐんま（推進組織）の運営

・運営委員会

期日・場所等	内 容
第1回 6月14日 前橋市 委員7名	(1) 正副委員長の選出について (2) 専門委員会構成員の指名、専門委員会委員長選出について (3) 令和6年度の取り組みについて
第2回 11月15日 前橋市 委員7名	(1) 令和6年度事業報告について (2) 令和7年度事業計画について

・専門委員会

期日・場所等	内 容
8 月 5 日 前橋市 委員 3 名	(第 1 回) 認証・公表専門委員会 ・受審結果の公表について (2 件)
3 月 12 日 前橋市 委員 3 名	(第 2 回) 認証・公表専門委員会 ・受審結果の公表について (2 件)
12 月 6 日 前橋市 委員 7 名	基準・研修専門委員会 ・プレ評価事業の取組状況について ・令和 6 年度評価調査者継続研修について

・正副委員長会議

期日・場所等	内 容
第 1 回 11 月 22 日 前橋市 2 名	・プレ評価の状況について ・評価調査者継続研修について ・今後の予定について
第 2 回 1 月 15 日 前橋市 2 名	・プレ評価の状況について ・評価調査者継続研修について ・今後の予定について
第 3 回 3 月 12 日 前橋市 2 名	・第 2 回認証・公表委員会について ・令和 7 年度事業計画について

(b) 評価機関の認証

- ・令和 6 年度は新たな評価機関の認証なし。

(c) 評価結果の公表

	法人名	施設名	評価実施機関
1	社会福祉法人 昭和村社会福祉協議会	地域密着型通所介護 昭和の里	サービス評価センター はあとらんど
2	公益財団法人 鉄道弘済会	高崎保育所 (ひばり保育園)	群馬社会福祉評価機構
3	社会福祉法人 榎の木	森の子園	プログレ総合研究所
4	社会福祉法人 赤城会	あかぎ育成園	プログレ総合研究所

(d) 評価調査者への研修

期日・場所等	内 容
評価調査者継続研修 2月11日 前橋市 参加者23名	講義「福祉サービス第三者評価事業に求められる社会的役割」 講師 高崎健康福祉大学 准教授 原田 欣宏 演習「福祉サービス第三者評価受審を サービス向上の取り組みに繋げるために」 ～気づきや改善に繋がる評価結果のコメントを考える～ 講師 東京福祉大学 准教授 北爪 克洋
未経験調査者向け 研修	(1) プレ評価の活用 回数 8か所 人数 16名(延べ) (2) あかぎ育成園(R6本評価)職員説明会 回数 3回 人数 6名
プレ評価の実施	施設数 15施設(高齢4施設、保育2施設、障害9施設) 評価調査者 30名(延べ人数) 取組内容 プレ評価の準備・当日の進行・評価結果の作成と報告

(e) 広報啓発、受審促進

- ・プレ評価の実施 15施設
- ・種別協議会総会等説明 22回 2,480部
- ・福祉ぐんまの掲載 第三者評価事業を特集として掲載(10月1日発行12,000部)
- ・施設訪問 延べ70施設

(イ) 福祉サービス運営適正化委員会事業

(a) 福祉サービス運営適正化委員会(本委員会)

期日・場所等	内 容
第1回 6月26日 前橋市 参加委員8名	(1) 令和5年度福祉サービス運営適正化委員会の事業報告について (2) 令和6年度福祉サービス運営適正化委員会の事業計画について (3) その他

(b) 運営監視合議体開催状況

期日・場所等	内 容
第1回 6月26日 前橋市 参加委員4名	(1) 日常生活自立支援事業 事業報告について (2) 令和5年度社協訪問調査結果通知に対する改善報告について (3) 令和6年度基幹社協訪問調査について
第2回 10月30日 前橋市 参加委員6名	報告事項 (1) 日常生活自立支援事業の実施状況について (2) 福祉サービス利用援助事業実施社協訪問調査の報告について 協議事項 (1) 福祉サービス利用援助事 (2) その他

(c) 福祉サービス利用援助事業実施社協に対する訪問調査

日常生活自立支援事業を実施する基幹的社会福祉協議会に対して、福祉サービス利用援助事業の実施状況について巡回指導を実施した。

期日	訪問先	巡回者
8月 8日	下仁田町社会福祉協議会	委員 1 名、事務局 1 名
8月 8日	南牧村社会福祉協議会	委員 1 名、事務局 1 名
8月 28日	桐生市社会福祉協議会	委員 1 名、事務局 1 名
8月 28日	みどり市社会福祉協議会	委員 1 名、事務局 1 名
9月 3日	甘楽町社会福祉協議会	委員 1 名、事務局 1 名
9月 3日	富岡市社会福祉協議会	委員 1 名、事務局 1 名
9月 9日	玉村町社会福祉協議会	委員 1 名、事務局 1 名
9月 9日	伊勢崎市社会福祉協議会	委員 1 名、事務局 1 名
9月 11日	前橋市社会福祉協議会	委員 1 名、事務局 1 名
10月 8日	前橋市社会福祉協議会 宮城支所・粕川支所・大胡支所	事務局 1 名
10月 11日	みどり市社会福祉協議会 大間々支所・東支所	事務局 1 名
10月 25日	桐生市社会福祉協議会 黒保根支所・新里支所	事務局 1 名
10月 25日	神流町社会福祉協議会	委員 1 名、事務局 1 名
10月 25日	上野村社会福祉協議会	委員 1 名、事務局 1 名

(d) 苦情解決合議体開催状況

期日・場所等	内 容
4月 19日 前橋市 参加委員 4 名	(1) 苦情など受付件数の推移について (2) 前回受付をした苦情相談のその後について (3) 前回以降にあった苦情相談受付状況について (4) 通報のあった案件について (5) 苦情解決部会の日程について
6月 21日 前橋市 参加委員 4 名	(1) 苦情など受付件数の推移について (2) 前回以降にあった苦情相談受付状況について
8月 30日 前橋市 参加委員 4 名	(1) 苦情など受付件数の推移について (2) 前回以降にあった苦情相談受付状況について
10月 30日 前橋市 参加委員 5 名	(1) 苦情など受付件数の推移について (2) 前回以降にあった苦情相談受付状況について
12月 17日 前橋市 参加委員 5 名	(1) 苦情など受付件数の推移について (2) 前回以降にあった苦情相談受付状況について

期日・場所等	内 容
2月9日 前橋市 参加委員6名	(1) 苦情など受付件数の推移について (2) 前回以降にあった苦情相談受付状況について (3) 苦情解決セミナーについて

(e) 福祉サービスに関する苦情等の受付・対応状況

・受付件数（受付方法別）

	受 付 方 法								備考
	来所		書面・電話		その他（メール）		計		
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	
合 計	6	2	49	28	0	0	55	30	

・種別及び申出人の属性

区分	利用者		家族		代理人		職員		その他		計	
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他
高齢者	3	0	6	0	0	0	2	0	0	0	11	0
障害者	14	1	7	0	1	0	4	0	2	1	28	2
児 童	1	0	14	2	0	0	0	0	0	1	15	3
その他	0	1	1	4	0	0	0	2	0	18	1	25
合 計	18	2	28	6	1	0	6	2	2	20	55	30

・種別並びに受付内容の区分

区 分	苦 情							
	苦情受付件数	苦情解決の結果						
		①相談援助	②紹介伝達	③あっせん	④県へ通知	⑤その他	⑥継続中	⑦意見・要望
①サービス内容（職員の接遇）	20	12	4	0	0	3	1	0
②サービス内容（サービスの質や量）	14	11	0	0	0	3	0	0
③利用料	12	6	4	0	0	2	0	0
④説明・情報提供	4	1	0	0	0	3	0	0
⑤被害・損害	1	0	1	0	0	0	0	0
⑥権利侵害	1	1	0	0	0	0	0	0
⑦その他	3	2	0	0	0	1	0	0
合 計	55	33	9	0	0	12	1	0

(f) 事業者訪問

期日・場所等	内 容
11 月 8 日 前橋市 事務局 1 名	苦情対応研修会への参加 社会福祉法人 富士見会
12 月 10 日 伊勢崎市 委員 1 名・ 事務局 1 名	苦情対応研修会への参加 社会福祉法人 明清会
1 月 24 日 前橋市 委員 1 名	苦情対応研修会への参加 社会福祉法人 伊勢崎市社会福祉協議会

(g) 選考委員会の開催状況

期日・場所等	内 容
第 1 回 9 月 20 日 (書面審議) 委員 12 名	運営適正化委員会委員の選任

(h) 福祉サービス苦情解決セミナー

期日・場所等	内 容
3 月 7 日 前橋市 (集合&web 開催) 383 名	テーマ「福祉施設等におけるカスタマーハラスメントの 傾向と対策」 講師 弁護士法人おかげさま 代表弁護士 外岡 潤

(i) 全国及び地方会議・研修会等

期日・場所等	内 容
7 月 3 日 東京都 参加者 1 名	運営適正化委員会事業研究協議会 ・行政説明、説明、講義、情報交換
10 月 18 日 東京都 参加者 2 名	関東ブロック運営適正化委員会委員長等連絡会・相談員連絡会 ・事前アンケートを元にした協議・情報交換
10 月 31 日 ～11 月 1 日 東京都 参加者 1 名	運営適正化委員会事業研究協議会・相談員研修会 ・説明、講義、情報交換、グループ協議、講義・演習

基本目標Ⅱ 福祉人材の確保・育成・定着

推進項目1 福祉人材の確保に向けた取組の強化

(1) 福祉人材の確保に向けた取組の推進

群馬県福祉マンパワーセンター（福祉人材無料職業紹介所）と労働局やハローワークをはじめとする関係機関との連携を強化し、福祉業界への新規参入の促進を図った。

①福祉人材無料職業紹介所の充実・強化

(ア) 福祉人材無料職業紹介所

(a) 求人・求職等実績

区分	取扱件数	内 容	
登録	新規求人 6,567 名	県センター 3,142 名、高崎支所 2,102 名、東毛バンク 1,323 名	
	新規求職 1,540 名	県センター 809 名、高崎支所 416 名、東毛バンク 315 名	
紹介・採用	紹介・応募 324 名	県センター 174 名、高崎支所 98 名、東毛バンク 52 名	
	採用 392 名 ※複数の分野にまたがって事業を行う求人があるため、各分野の合計と一致しない ※ぐんま保育士就職支援センターの実績を含む	県センター223 名	高齢関係分野 123 名
			障害関係分野 26 名
			児童関係分野 81 名
			その他福祉分野 16 名
		高崎支所 106 名	高齢関係分野 75 名
			障害関係分野 9 名
			児童関係分野 10 名
			その他福祉分野 8 名
		東毛バンク 63 名	高齢関係分野 47 名
			障害関係分野 6 名
			児童関係分野 5 名
			その他福祉分野 2 名
求人求職相談	求人相談 1,500 件	来所 68 件、電話 1,063 件、FAX 28 件、郵便 177 件、メール 164 件	
	求職相談 8,287 件	来所 574 件、電話 2,368 件、FAX 26 件、郵便 3,364 件、メール(SNS) 947 件、ビデオ相談 1 件、出張相談 1,007 件	
届出	離職介護人材 27 件	届出累計 510 件	
	離職保育人材 17 件	届出累計 99 件	

※県センター…群馬県福祉マンパワーセンター

高崎支所 …群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所

東毛バンク…群馬県福祉マンパワーセンター東毛地区福祉人材バンク

※ぐんま保育士就職支援センターの実績を含む

(b) 情報提供・広報

- ・「福祉人材ニュース」の発行
- ・イベント情報等の郵送を希望する求職者に対し、「福祉人材ニュース」及び求人一覧を送付
- ・「教育・保育のキャリアアップ研修等事業」「各種貸付事業」送付物のチラシ同封
- ・エフエム群馬 CM放送「ぐんま保育士就職支援センター」
「【吾妻】地区別福祉の仕事フェア就職相談会」
- ・NHK「ほっとぐんま630」 「就職相談会」、「人材確保の取り組み」
- ・テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」
「ぐんま保育士就職支援センター」取組み紹介（令和6年12月26日（木））
- ・上毛新聞 「ぐんまの介護・福祉 就職ガイドブック」、
「ぐんまで保育 就職ガイドブック」掲載
- ・毎日新聞 介護の日記事掲載
- ・各市町村広報紙 イベント広告掲載
- ・太田フリモ イベント広告掲載
- ・伊勢崎フリモ イベント広告掲載
- ・求人ジャーナルチラシ・フリーペーパー イベント広告掲載
- ・福祉ぐんま イベント広告、事業紹介掲載
- ・県社協封筒 群馬県福祉人材センター広告掲載
- ・Instagram広告 イベント広告、ぐんま保育士就職支援センター、
介護職員相談サポートセンターPR

(c) 啓発活動の強化

- ・啓発活動としてイベントの開催や事業協力を行った。

期日・場所等	対象	内容
7月6日 伊勢崎市 参加者 53 組	幼児 小学生 保護者	ままこランド（スマーク伊勢崎） ワークショップブース出展
8月10、11日 高崎市 参加者 326 名	子育て世帯	きたかんF e s t i v a l（Gメッセ群馬） ワークショップ、クイズブース出展
8月21日 太田市 参加者 24 名	中学生 高校生	幼児教育・保育のおしごと魅力体験バスツアー ワークショップ、セミナー
12月2日 前橋市 参加者 12 名	中学生 高校生	幼児教育・保育のおしごと魅力体験バスツアー ワークショップ、セミナー

(d) 運営委員会

期日・場所等	内 容
10月24日 前橋市 参加者16名	・令和6年度事業実施状況と今後の取組みについて

(e) 運営委員会研修・企画部会

期日・場所等	内 容
3月10日 前橋市 参加者9名	・研修・企画部会の説明、部会長、副部会長の選出について ・群馬県内の研修実施状況について ・今後の取り組み方針について ・「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」講師派遣事業について

(イ) 他機関との連携

(a) 福祉人材確保に関する関係機関情報交換会

期日・場所等	参加団体／内容
2月28日 前橋市 参加者21名	(参加団体) 群馬県社会福祉施設経営者協議会、群馬県老人福祉施設協議会、群馬県保育協議会、群馬県知的障害者福祉協会、群馬労働局、前橋公共職業安定所、介護労働安定センター、群馬県地域福祉課・こども子育て支援課、東毛地区福祉人材バンク、群馬県社会福祉協議会（群馬県福祉マンパワーセンター） (内容) ・群馬労働局説明 ・群馬県福祉マンパワーセンター報告・説明 ・情報交換

(b) 養成施設・研修施設等での出張説明

会場	回数	参加者
NIPPON語学院	1	10
伊勢崎市役所 東館5階第4会議室	2	32
群馬医療福祉大学	1	3
群馬社会福祉専門学校	2	15
さくらカルチャーセンター渋川	1	8
じゃんけんぽん	3	27
高崎医療福祉カレッジ	2	25
高崎市役所	2	23
ほたか会介護研修センター	6	113

会場	回数	参加者
みどり市笠懸公民館	1	13
ようざん	2	24
藤岡市元気サポートセンターふじの花	1	4
合計	24	297

(c) 他機関が実施する就職相談会等への協力

- ・「幼保認可合同就職説明会 in ぐんま 2024」（一般社団法人群馬県私立幼稚園・認定こども園協会、群馬県保育協議会、群馬県認定こども園協会主催）1回
- ・「令和6年度就職フェア」（太田市保育園連絡協議会主催）1回
- ・「就活フェス in いせさき 2024」（伊勢崎市私立保育園会主催）1回
- ・「介護と福祉のおしごと就職相談会」（上毛新聞社主催）1回
- ・「前橋・高崎介護就職説明会」（前橋公共職業安定所・高崎公共職業安定所主催）1回
- ・「オールぐんま移住フェア 2024」（群馬県ぐんま暮らし・外国人活躍推進課主催）1回
- ・人生100年時代シニア人材JOBマッチ交流会（群馬県主催）1回
- ・福祉・介護業界就職セミナー（株式会社マイナビ主催）登壇1回
- ・医療・福祉業界研究セミナー（群馬医療福祉大学主催）1回
- ・いせさき合同会社説明会（伊勢崎公共職業安定所主催）1回

(ウ) 新規参入促進・潜在福祉人材の発掘

(a) 福祉の裾野を広げる体験事業

福祉職未経験者等を対象として、短期間の雇用契約を締結し職場体験を行う事業を実施した。

- ・福祉の裾野を広げる体験事業の相談やマッチングを行った。

分野	相談者数	利用者数	就職者数	就職先詳細
高齢	3名	3名	0名	
障害	2名	2名	1名	体験先への就職1件
児童（保育）	1名	1名	1名	体験先への就職1件
合計	6名	6名	2名	

②群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所、群馬県福祉マンパワーセンター東毛地区福祉人材バンクの活動強化

(ア) 群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所、群馬県東毛地区福祉人材バンクとの連携強化

(a) 連絡会議

期日・場所等	内 容
7 月 8 日 前橋市 参加者 14 名	・ 令和 6 年度事業の進捗状況について ・ マッチング機能強化事業について ・ 情報交換

③ぐんま保育士就職支援センター運営事業

県内の保育人材の安定的な確保を図ることを目的に、保育の求職・求人に特化した「ぐんま保育士就職支援センター」を設置・運営し、保育現場での就職を希望する保育士、保育教諭及び保育補助者（以下「保育士等」）と保育士等を求める県内保育所等の支援を行った。

(ア) 保育士等から就職相談を受け、適切な勤務先を提案し、就職支援を行った。

区分	取扱件数	内 容	
登録	新規求人 755 件	保育士・保育教諭	523 件
		上記以外	232 件
	新規求職 243 件		
紹介・採用	紹介・応募 62 件	紹介 42 件・応募 20 件	
	採用 58 件 ※うち保育士・保育教諭が保育所、認定こども園、地域型保育事業所、企業主導型保育事業所、認可外保育施設に就職した件数・・・50 件	保育所	22 件
		認定こども園	27 件
		地域型保育事業所	0 件
		企業主導型保育事業所	2 件
		認可外保育施設	0 件
		放課後児童クラブ	2 件
		他児童福祉施設	3 件
		幼稚園	1 件
		その他	1 件
求人求職相談	求人相談 1,007 件	来所 26 件、電話 921 件、FAX 8 件、郵便 16 件、メール 36 件	
	求職相談 1,000 件	来所 52 件、電話 337 件、郵便 75 件、メール 266 件、SNS 270 件	

(a) 前橋地区において、保育所等と求職者を集め、就職に関する相談会を開催した。

期日・場所等	地区等	参加法人	参加者	採用数
2 月 1 日 前橋市	前橋地区	6 法人	25 名	1 名

(b) 保育分野での人材確保を目的として、潜在保育士を対象に、今後の復職等を視野に入れた情報交換を行う「ほいくしかフェ」を開催した。

期日・場所等	参加者数	就職支援者数	就職者数
8月30日 高崎市 (鳥川カフェ)	3名	1名	0名
11月6日 沼田市 (沼田市福祉カフェ ippo)	4名	2名	0名
1月29日 前橋市 (木下商店)	3名	1名	0名
2月19日 太田市 (木崎あおぞら保育園)	3名	1名	1名
合 計	13名	5名	1名

(c) セミナーの開催

期日・場所等	内 容
12月5日 太田市 参加者7名	「保育士セカンドチャレンジセミナー」 講師 ぐんま保育士就職支援センター 保育士キャリアアドバイザー 森 静子
2月18日 藤岡市 参加者3名	「保育士チャレンジセミナー」 講師 ぐんま保育士就職支援センター 保育士キャリアアドバイザー 森 静子

(d) 施設見学会

期日・場所等	内 容
12月18日 伊勢崎市 参加者3名	社会福祉法人宏池会 幼保連携型認定こども園 二葉こども園

(2) 福祉人材確保にかかる求人事業所・求職者への支援

イベント開催による求人事業所・求職者のマッチングや、求職者等に対する個別的な支援を実施した。

また、福祉施設職員等の福利厚生の充実を図る取組や、新たな福祉人材の担い手確保に向けた各種貸付事業の実施を通じて福祉人材の確保・定着を推進した。

①求職者のマッチング率の向上に向けた取組

(ア) 施設見学会

(a) 集合型施設見学会

期日・場所等	内 容
群馬県福祉マンパワーセンター 主催	
12月2日 吉岡町 参加者9名	特定非営利活動法人山脈 みやま工房、キッチンハウスみやま ハーモニー（グループホーム）、パン工房麦のゆめ
群馬県福祉マンパワーセンター東毛地区福祉人材バンク 主催	
1月17日 太田市 参加者8名	社会福祉法人同仁会 特別養護老人ホームみづほの里
11月11日 太田市 参加者7名	社会福祉法人愛光園 特別養護老人ホーム愛光園
1月17日 太田市 参加者8名	社会福祉法人同仁会 特別養護老人ホームみづほの里

(b) 個別施設見学調整

求職者一人一人に合った就職先を提案し、マッチング率の向上を図るため、採用面接前
事前施設見学の調整を行った。

中北毛地域 233 件、西毛地区 129 件、東毛地区 92 件

(イ) 就職相談会

(a) 福祉の仕事フェア・お仕事相談会

期日・場所等	地区等	参加法人	参加者	採用数
群馬県福祉マンパワーセンター 主催				
7月20日・渋川市	渋川地区	8法人	28名	2名
10月3日・中之条町	吾妻地区	6法人	13名	0名
12月16日・沼田市	沼田・利根郡地区	6法人	20名	1名
1月18日・伊勢崎市	伊勢崎・玉村地区	10法人	33名	1名
群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所 主催				
8月15日・富岡市	富岡・安中地区	7法人	31名	1名
9月28日・高崎市	高崎地区	15法人	80名	3名
12月14日・藤岡市	藤岡・新町地区	7法人	25名	0名
群馬県福祉マンパワーセンター東毛地区福祉人材バンク 主催				
6月30日・太田市	東毛地区	15法人	33名	7名
9月29日・館林市	東毛地区	15法人	13名	1名
11月30日・桐生市	東毛地区	15法人	21名	5名
合 計		104法人	297名	21名

(b) 福祉の仕事フェア・お仕事相談会（マッチング）

期日・場所等	名称	参加法人	参加者	採用数
群馬県福祉マンパワーセンター 主催				
11月2日・前橋市	「介護の日」 福祉の仕事フェア	10 法人	30 名	1 名
群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所 主催				
11月14日・高崎市	家庭も仕事も大切にしたい方の 仕事相談会	9 法人	18 名	6 名
群馬県福祉マンパワーセンター東毛地区福祉人材バンク 主催				
1月22日・太田市	東毛地区福祉のお仕事相談会 (高齢者施設)	6 法人	9 名	0 名
1月23日・太田市	東毛地区別福祉の仕事相談会 (障がい者施設)	6 法人	10 名	0 名
合 計		31 法人	67 名	7 名

(c) ガイダンス

・福祉の仕事ガイダンス

期日・場所等	内 容
群馬県福祉マンパワーセンター・群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所 主催	
1月14日 前橋市 参加者 10 名	テーマ「2025年問題を迎えた今考えるこれからの介護」 講師 社会福祉法人群馬県社会福祉事業団 特別養護老人ホーム菱風園園長 松井 泰俊
10月26日 前橋市 参加者 45 名	テーマ「障害者のはたらくを支える就労支援・ 障害児の成長を支える放課後等デイサービス」 講師 社会福祉法人三山黎明会 理事 石倉 敦也
3月17日 前橋市 参加者 22 名	テーマ「体験してみよう！福祉用具を活用した 利用者にも介助者にも優しい介護技術」 講師 株式会社モルテン 健康用品事業本部営業開発統括部 三城 まどか
群馬県福祉マンパワーセンター東毛地区福祉人材バンク 主催	
7月11日 太田市 参加者 24 名	テーマ「福祉介護現場でのアンガーマネジメント」 講師 株式会社サクライカオル 代表取締役 櫻井 薫
10月21日 太田市 参加者 19 名	テーマ「これからの介護を考える」 講師 社会福祉法人群馬県社会福祉事業団 特別養護老人ホーム菱風園 園長 松井 泰俊
合 計 120 名	

・セミナー、研修会

介護職員及び福祉分野に関心のある求職者を支援するため、介護等に関する知識や技術を高めるためのセミナーや研修会を開催した。

期日・場所等	内容
6月14日 高崎市 参加者9名	テーマ「キャリアプラン作成セミナー」 講師 株式会社ワークエントリー ぐんま事業部長 太田 広子
11月2日 介護の日のイベント 前橋市 参加者48名	トークショー「はたつんと語ろ！介護のつらさ・楽しさ」 講師 インフルエンサー はたつん介護士

(ウ) キャリア支援専門員による個別支援

(a) 求職相談

相談・採用件数（延べ数）	内訳（延べ数）
群馬県福祉マンパワーセンター	
相談件数 2,440 件	来所相談 346 件
	電話相談 1,424 件
	出張相談 670 件 (ハローワーク、ハローワーク以外、マッチング事業等)
採用件数 141 件	c o o l システム 90 件
	c o o l システム以外 51 件
群馬県福祉マンパワーセンター高崎支所	
相談件数 1,489 件	来所相談 131 件
	電話相談 1,015 件
	出張相談 343 件 (ハローワーク、ハローワーク以外、マッチング事業等)
採用件数 99 件	c o o l システム 63 件
	c o o l システム以外 36 件
群馬県福祉マンパワーセンター東毛地区福祉人材バンク	
相談件数 534 件	来所相談 114 件
	電話相談 271 件
	出張相談 149 件 (ハローワーク、ハローワーク以外、マッチング事業等)
採用件数 64 件	c o o l システム 48 件
	c o o l システム以外 16 件
相談件数 4,463 件	採用件数 304 件

※福祉の裾野を広げる体験事業利用者にかかるマッチング件数を含む。

(b) 就労後相談

センター・バンク	相談件数（延べ数）	内 訳
群馬県福祉マンパワーセンター	相談件数 57 件	来所相談 9 件
		電話相談 40 件
		訪問相談 8 件
群馬県福祉マンパワーセンター 高崎支所	相談件数 7 件	来所相談 1 件
		電話相談 3 件
		訪問相談 3 件
群馬県福祉マンパワーセンター 東毛地区福祉人材バンク	相談件数 0 件	来所相談 0 件
		電話相談 0 件
		訪問相談 0 件
合 計	64 件	

(c) ハローワーク出張相談

主 催	会 場	相談日	相談件数 (延べ数)
群馬県福祉マンパワーセンター	ハローワーク渋川	毎月第 4 水曜日	8 件
	ハローワーク中之条	毎月第 4 月曜日	33 件
	ハローワーク沼田	毎月第 2 水曜日	7 件
	ハローワーク伊勢崎	毎月第 1 月曜日	23 件
群馬県福祉マンパワーセンター 高崎支所	ハローワーク藤岡	毎月第 1 火曜日	5 件
	ハローワーク安中	毎月第 3 水曜日	17 件
	ハローワーク富岡	毎月第 1 水曜日	4 件
群馬県福祉マンパワーセンター 東毛地区福祉人材バンク	ハローワーク桐生	毎月第 2 火曜日	13 件
	ハローワーク館林	毎月第 3 火曜日	25 件
合 計			135 件

- ・ SNS による PR やオンライン相談の環境整備
- ・ LINE での情報提供を実施 登録者数 1,341 名

②福祉人材の定着支援の促進

(ア) 福祉人材確保・定着支援セミナー

期日・場所等	内 容
2 月 26 日 (web 開催) 受講者 21 名	講義「初期キャリアの重要性と社員定着のために必要な 3 つの要素」 講師 株式会社マイナビ 教育研修事業部 営業統括部 人材開発ソリューション 1 部第 1 チーム チーム長 森川 達彦 株式会社マイナビ 教育研修事業部 営業統括部 人材開発ソリューション 1 部第 1 チーム 3 課 課長 桑原 大輝

(イ) 施設・事業所への訪問

センター・バンク	施設・事業所 (延べ数)	内訳 (延べ数)
群馬県福祉マンパワーセンター	123 施設・事業所	高齢関係分野 86 施設・事業所
		障害関係分野 34 施設・事業所
		その他関係分野 3 施設・事業所
群馬県福祉マンパワーセンター 高崎支所	313 施設・事業所	高齢関係分野 249 施設・事業所
		障害関係分野 48 施設・事業所
		その他関係分野 16 施設・事業所
群馬県福祉マンパワーセンター 東毛地区福祉人材バンク	103 施設・事業所	高齢関係分野 64 施設・事業所
		障害関係分野 39 施設・事業所
		その他関係分野 0 施設・事業所
合 計	539 施設・事業所	

(ウ) 介護職員相談サポートセンター

(a) 方法別相談件数

月	相談方法			計
	電話	来所	メール	
4 月	26	11	2	39
5 月	11	8	2	21
6 月	18	10	1	29
7 月	15	9	2	26
8 月	13	12	2	27
9 月	10	13	2	25
10 月	25	12	4	41
11 月	19	13	0	32
12 月	13	12	1	26
1 月	13	10	4	27
2 月	15	3	2	20
3 月	12	6	3	21
合 計	190	119	25	334

(b) 内容・方法別相談件数

相談内容	相談方法			計
	電話	来所	メール	
労働条件	21	5	1	27
業務内容・量	63	5	13	81
利用者等	2	1	1	4
人間関係	26	9	4	39
キャリア形成	26	15	3	44
離職・転職	44	77	0	121
健康面	3	2	2	7
生活全面	4	4	0	8
その他	1	1	1	3
合 計	190	119	25	334

(エ) 福利厚生センター（ソウェルクラブぐんま）事業

福利厚生センターから都道府県事務局を受託し、会員同士の親睦やリフレッシュを目的とした旅行、食事会などの会員交流事業等を実施した。

(a) 加入状況（令和7年3月31日時点）

加入法人数	加入者数
106 法人（238 事業所）	4,436 名

(b) ソウェルクラブぐんま企画委員会

期日・場所等	内 容
4 月 22 日 前橋市 (集合開催) 参加者 12 名	(1) 令和5年度福利厚生センター事業報告について (2) 令和6年度会員交流事業の実施案について (3) 情報交換

(c) 会員交流事業

期日・場所等	内 容
7 月 13 日 前橋市 参加者 100 名	劇団四季『ジーザス・クライスト・スーパースター』 前橋公演鑑賞券
7 月 10 日 ～9 月 29 日 群馬県内 参加者 386 名	グルメでリフレッシュ第1弾 「レストランスワン」食事券

期日・場所等	内 容
1 月 18 日 舞浜 参加者 283 名	東京ディズニーリゾート日帰りツアー
2 月 7 日 ～3 月 5 日 群馬県内 参加者 363 名	グルメでリフレッシュ第 2 弾 『焼き肉めぐり・炭火ダイニング燈』食事券
有効期限無し 全国 参加者 688 名	グルメでリフレッシュ第 3 弾 ジェフグルメカード

(d) 地域開発メニュー

令和 6 年度新規登録事業者無し

(オ) 県社協民間社会福祉施設等職員共済事業

(a) 加入状況 (R7.3.31 現在) 440 法人・1,148 施設／19,167 人

・老人福祉関係施設	472 施設／ 7,041 人
・児童・障害福祉関係施設	273 施設／ 4,343 人
・保育園関係施設	359 施設／ 6,782 人
・社会福祉団体	44 施設／ 1,001 人

(b) 退職手当支払資金・福利厚生給付金決定状況

・退職手当支払資金	1,767 件／142,093,409 円
・福利厚生給付金	14,304 件／162,578,875 円
・死亡弔慰金	48 件／ 5,920,000 円
・傷病見舞金	143 件／ 3,106,500 円
・結婚祝金	251 件／ 7,530,000 円
・災害見舞金	1 件／ 10,000 円
・出産祝金	400 件／ 10,000,000 円
・入学祝金	1,562 件／ 13,600,000 円
・長期勤続者慰労金	895 件／ 15,990,000 円
・退職慰労金	1,614 件／ 82,424,000 円
・特例退職慰労金	255 件／ 2,520,000 円
・障害厚生年金見舞金	1 件／ 150,000 円
・遺児育英資金	2 件／ 400,000 円
・厚生保養費	19 件／ 19,000 円
・生活習慣病予防検診助成金	5,607 件／ 18,104,575 円
・レクリエーション事業助成金	3,506 件／ 2,804,800 円

(c) 運営委員会

期日・場所等	内 容
12 月 3 日 前橋市 参加者 9 名	・令和 5 年度事業報告について ・福祉医療機構による新しい退職手当共済システム稼働に伴う対応について ・県単共済事業の財政状況について

③新たな福祉人材の担い手確保に向けた貸付事業

(ア) 貸付制度を活用した資格取得及び就職支援

(a) 介護福祉士修学資金等貸付事業

資金種類	新規貸付決定件数	送金件数	金額
介護福祉士修学資金	131 件	184 件	150,495,866 円
実務者研修受講資金	86 件	85 件	9,292,681 円
合 計	217 件	269 件	159,788,547 円

(b) 福祉系高校修学資金貸付事業

資金種類	新規貸付決定件数	送金件数	金額
福祉系高校修学資金	4 件	4 件	1,080,000 円

(c) 保育士修学資金等貸付事業

資金種類	新規貸付決定件数	送金件数	金額
保育士修学資金	78 件	140 件	98,568,368 円

(d) 潜在有資格者の就業支援

資金種類	新規貸付決定件数	送金件数	金額
離職した介護人材の再就職準備金	27 件	24 件	9,580,000 円
潜在保育士就職準備金	12 件	7 件	1,400,000 円
合 計	39 件	31 件	10,980,000 円

(e) 他業種等からの介護分野への就業支援

資金種類	新規貸付決定件数	送金件数	金額
介護分野就職支援金	22 件	27 件	5,400,000 円
障害福祉分野就職支援金	9 件	6 件	1,200,000 円
合 計	31 件	33 件	6,600,000 円

推進項目２ 福祉人材の育成・定着に向けた取組の強化

（１）福祉人材の育成・定着に向けた取組の推進

①福祉従事者に対する各種研修の実施

（ア）研修管理システムの導入

新たに研修管理システムを導入し、参加申込、受講履歴の確認等において受講者の利便性を高めた。

（イ）キャリア形成に資する研修

福祉施設職員等に職位に応じて共通に求められる能力を段階的・体系的に習得することを支援するため研修会を実施した。

（a）福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「初任者コース」

期日・場所等	内 容
A日程 6月28日、7月5日 (web開催) 70名	講義・演習 講師 東京福祉大学社会福祉学部 准教授 北爪 克洋
B日程 8月23日、8月30日 前橋市 73名	講義・演習 講師 東京福祉大学社会福祉学部 准教授 北爪 克洋
C日程 9月13日、9月20日 前橋市 76名	講義・演習 講師 東京福祉大学社会福祉学部 准教授 北爪 克洋
修了者 219名	

（b）福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「中堅職員コース」

期日・場所等	内 容
A日程 7月19日、8月9日 (web開催) 51名	講義・演習 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授 永田 理香 助手 武井 祐希
B日程 8月20日、8月27日 前橋市 56名	講義・演習 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授 永田 理香 助手 武井 祐希

期日・場所等	内 容
C 日程 9 月 11 日、9 月 25 日 前橋市 50 名	講義・演習 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授 永田 理香 助手 武井 祐希
修了者 157 名	

(c) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「チームリーダーコース」

期日・場所等	内 容
A 日程 10 月 29 日、11 月 5 日 (web 開催) 50 名	講義・演習 講師 合同会社泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造
B 日程 11 月 7 日、11 月 8 日 前橋市 52 名	講義・演習 講師 合同会社泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造
修了者 102 名	

(d) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「管理職員コース」

期日・場所等	内 容
8 月 21 日、8 月 28 日 (web 開催) 37 名	講義・演習 講師 日本女子大学人間社会学部社会福祉学科 教授 久田 則夫
修了者 37 名	

(ウ) 福祉マネジメント力を高める研修

(a) 福祉マネジメント力を高める研修

・人材育成体制を強化し組織性を高める研修

期日・場所等	内 容
9 月 18 日、11 月 27 日 前橋市 28 名	テーマ「社会福祉事業者キャリアパス策定・運用研修」 講義・演習 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授 永田 理香 助教 一柳 大輔

期日・場所等	内 容
11 月 15 日 前橋市 78 名	テーマ「福祉現場のアンガーマネジメントと部下の叱り方研修」 講義・演習 講師 社会福祉法人誠光会 障害者支援施設誠光荘 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネジメントファシリテーター 藤井 友和
12 月 23 日 ～3 月 17 日 (動画配信) 視聴回数 415 回	テーマ「コミュニケーションスキルアップ研修」 講師 群馬県立女子大学 教授 日詰 慎一郎
1 月 20 日 ～3 月 17 日 (動画配信) 視聴回数 118 回	テーマ「OJTリーダー研修」 講師 介護人材育成コンサルタント 木村 鈴子
1 月 20 日 ～3 月 17 日 (動画配信) 視聴回数 114 回	テーマ「管理職が身につけておくべき労務管理研修」 講師 介護人材育成コンサルタント 木村 鈴子
2 月 7 日 ～3 月 17 日 (動画配信) 視聴回数 82 回	テーマ「人事評価・運用研修」 講師 高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授 永田 理香 助教 一柳 大輔

(エ) 教育・保育のキャリアアップ研修等事業

保育士等に対してキャリアアップのための研修を実施した。

教育・保育のキャリアアップ研修については、第1期を集合型、第2、3期をeラーニング型研修として実施。教育・保育のステップアップ研修第1期から第2期については、集合型研修及びweb研修で実施。認可外保育施設研修、再就職希望者研修については、web研修で実施。

(a) 教育・保育のキャリアアップ研修 第1期(集合・7分野)

期日・場所等	分野名	修了者	講師		
6月17日 6月24日 6月26日 前橋市	11 乳児保育	114名	高崎健康福祉大学	講師	今井 麻美
			〃	〃	〃
			〃	助教授	石川 徹
7月10日 7月17日 8月21日 前橋市	21 幼児教育	109名	新島学園短期大学	教授	渡邊 哲也
			〃	〃	〃
			〃	〃	〃
7月1日 7月22日 8月16日 前橋市	31 障害児保育	111名	育英短期大学	教授	栗山 宣夫
			〃	〃	〃
			育英短期大学	教授	倉林 正
7月3日 7月9日 7月29日 前橋市	41 食育・ アレルギー対応	100名	共愛学園前橋国際大学短期大学	教授	神保 京子
			〃	〃	〃
			高崎健康福祉大学	講師	大塚 恵美子
6月11日 6月18日 6月25日 前橋市	51 保健衛生・ 安全対策	96名	足利短期大学	教授	佐々木 由美子
			〃	〃	〃
			〃	〃	〃
8月7日 8月14日 8月28日 前橋市	61 保護者支援・ 子育て支援	91名	群馬パース大学福祉専門学校	教務主任	塩澤 恵美
				講師	井上 暁子
			群馬パース大学福祉専門学校	非常勤講師	西川 君代
			群馬パース大学福祉専門学校	講師	小林 由井子
				講師	剣持 佐智子
7月23日 7月30日 8月19日 前橋市	71 マネジメント	100名	元関東短期大学	教授	森 静子
			〃	〃	〃
			〃	〃	〃

(b) 教育・保育のキャリアアップ研修 第2期 (e ラーニング・7分野)

視聴期間	分野名	修了者	講師 (各分野 3 講義を配信)		
9月 2日 ～9月 30日	12 乳児保育	185 名	I 元関東短期大学	教授	森 静子
			II "	"	"
			III "	"	"
9月 2日 ～9月 30日	22 幼児教育	191 名	I 高崎健康福祉大学	教授	岡本 拓子
			II "	助教授	石川 徹
			III "	教授	岡本 拓子
8月 1日 ～8月 30日	32 障害児保育	191 名	I 育英短期大学	教授	栗山 宣夫
			II "	"	"
			III 育英短期大学	教授	倉林 正
9月 2日 ～9月 30日	42 食育・ アレルギー対応	186 名	I 共愛学園前橋国際大学短期大学	教授	神保 京子
			II "	"	"
			III 高崎健康福祉大学	講師	大塚 恵美子
9月 2日 ～9月 30日	52 保健衛生・ 安全対策	178 名	I 足利短期大学	教授	佐々木 由美子
			II "	"	"
			III "	"	"
8月 1日 ～8月 30日	62 保護者支援・ 子育て支援	191 名	I 高崎健康福祉大学	准教授	野田 敦史
			II "	"	"
			III "	"	"
8月 1日 ～8月 30日	72 マネジメント	190 名	I 東京立正短期大学	准教授	鈴木 健史
			II "	"	"
			III "	"	"

(c) 教育・保育のキャリアアップ研修 第3期 (e ラーニング・7分野)

視聴期間	分野名	修了者	講師 (各分野 3 講義を配信)		
11月 1日 ～11月 29日	13 乳児保育	141 名	I 元関東短期大学	教授	森 静子
			II "	"	"
			III "	"	"
11月 1日 ～11月 29日	23 幼児教育	112 名	I 高崎健康福祉大学	教授	岡本 拓子
			II "	助教授	石川 徹
			III "	教授	岡本 拓子
10月 1日 ～10月 31日	33 障害児保育	157 名	I 育英短期大学	教授	栗山 宣夫
			II "	"	"
			III 育英短期大学	教授	倉林 正

視聴期間	分野名	修了者	講師（各分野 3 講義を配信）
11 月 1 日 ～11 月 29 日	43 食育・ アレルギー対応	131 名	I 共愛学園前橋国際大学短期大学 教授 神保 京子 II “ “ “ III 高崎健康福祉大学 講師 大塚 恵美子
11 月 1 日 ～11 月 29 日	53 保健衛生・ 安全対策	110 名	I 足利短期大学 教授 佐々木 由美子 II “ “ “ III “ “ “
10 月 1 日 ～10 月 31 日	63 保護者支援・ 子育て支援	121 名	I 高崎健康福祉大学 准教授 野田 敦史 II “ “ “ III “ “ “
10 月 1 日 ～10 月 31 日	73 マネジメント	100 名	I 東京立正短期大学 准教授 鈴木 健史 II “ “ “ III “ “ “

（d）教育・保育のステップアップ研修 第1期（3分野）

期日・場所等	分野名	修了者	講師
11 月 18 日 (web 開催) 11 月 29 日 (web 開催)	調理師向け研修	20 名	一般社団法人母子栄養協会 講師 シライ カヨコ 一般社団法人母子栄養協会 講師 茅野 陽
11 月 8 日 前橋市	看護師向け研修	6 名	群馬大学大学院保健学研究科 看護学講座 教授 金泉 志保美 認定こども園めだか保育園 看護師 武井 虹
12 月 6 日 高崎市	保育コミュニケーション	11 名	一般社団法人日本保育者支援協会 共同代表 新保 庄三

(e) 教育・保育のステップアップ研修 第2期 (3分野)

期日・場所等	分野名	修了者	講師
12月3日 (web開催) 12月5日 (web開催)	調理師向け研修	15名	一般社団法人母子栄養協会 講師 シライ カヨコ 一般社団法人母子栄養協会 講師 茅野 陽
12月20日 前橋市	看護師向け研修	4名	群馬大学大学院保健学研究科 看護学講座 教授 金泉 志保美 認定こども園めだか保育園 看護師 武井 虹
1月17日 前橋市	保育コミュニケーション	14名	一般社団法人日本保育者支援協会 共同代表 新保 庄三

(f) 認可外保育施設研修

期日・場所等	分野名	受講者	講師
2月5日 (web開催)	群馬県における制度説明	11名	群馬県生活子ども部こども・子育て支援課 保育係 副主幹 河内 聡志
2月7日 (web開催)	保育実践	6名	こどもと学び大研究所 代表 岩田 大
2月12日 (web開催)	障がい児、気になる子への対応	7名	育英短期大学 教授 倉林 正
2月14日 (web開催)	保育コミュニケーション	7名	保育コミュニケーション協会 代表 松原 美里
2月18日 (web開催)	虐待予防、保護者対応、子育て支援	8名	群馬医療福祉大学 講師 相良 由美子
2月26日 (web開催)	アレルギー疾患の理解と対応	6名	高崎健康福祉大学 講師 大塚 恵美子

(g) 再就職希望者研修

期日・場所等	分野名	受講者	講師
2月5日 (web開催)	群馬県における制度説明	2名	群馬県生活子ども部こども・子育て支援課 保育係 副主幹 河内 聡志
2月7日 (web開催)	保育実践	1名	こどもと学び大研究所 代表 岩田 大
2月12日 (web開催)	障がい児、気になる子への対応	2名	育英短期大学 教授 倉林 正
2月14日 (web開催)	保育コミュニケーション	1名	保育コミュニケーション協会 代表 松原 美里
2月18日 (web開催)	虐待予防、保護者対応、子育て支援	1名	群馬医療福祉大学 講師 相良 由美子
2月26日 (web開催)	アレルギー疾患の理解と対応	1名	高崎健康福祉大学 講師 大塚 恵美子

(オ) 介護支援専門員の資質向上研修

介護支援専門員に対して専門的知識及び技術の向上を図るため、一体的に研修を実施した。

(a) 主任介護支援専門員更新研修

実施期間・受講者等	内 容
4月12日 ～6月20日 (動画&web開催) 受講者 206名 修了者 206名	・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向 ・ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援 ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例 ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ・家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例 ・心疾患のある方のケアマネジメント ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント

(b) 主任介護支援専門員研修

実施期間・受講者等	内 容
5月15日 ～7月25日 (動画&web 開催) 受講者 101名 修了者 101名	・主任介護支援専門員の役割と視点 ・対人援助者監督指導(スーパービジョン) ・地域援助技術(コミュニティソーシャルワーク) ・地域における生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実現 ・ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援 ・終末期ケア(EOL(エンドオブライフ)ケア)を含めた生活の継続を支える基本的なケアマネジメント及び疾患別ケアマネジメントの理解 ・運営管理におけるリスクマネジメント ・人材育成及び業務管理 ・個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開

(c) 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ

実施期間・受講者等	内 容
6月14日 ～8月29日 (動画&web 開催) 受講者 139名 修了者 134名	・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 ・ケアマネジメントの実践における倫理 ・リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解 ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ・心疾患のある方のケアマネジメント ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例 ・家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント

(d) 介護支援専門員専門研修課程Ⅱ

実施期間・受講者等	内 容
7月10日 ～12月17日 (動画&web 開催) 受講者 732名 修了者 706名	・介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 ・ケアマネジメントの実践における倫理 ・リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解 ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント

実施期間・受講者等	内 容
	・心疾患のある方のケアマネジメント ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント ・看取り等における看護サービスの活用に関する事例 ・家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント

(e) 介護支援専門員実務研修

実施期間・受講者等	内 容
11月25日 ～3月25日 前橋市 (動画&web&集合) ・受講者 279 名 ・修了者 251 名	・介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント ・人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理 ・地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源 ・生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義 ・ケアマネジメントに係る法令等の理解 ・高齢者に多い疾患等(糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群)の留意点の理解 ・自立支援のためのケアマネジメントの基本 ・ケアマネジメントのプロセス ・相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎 ・利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意 ・受付及び相談並びに契約 ・アセスメント及びニーズ把握の方法 ・介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント) ・居宅サービス計画等の作成 ・サービス担当者会議の意義及び進め方 ・モニタリング及び評価 ・実習オリエンテーション ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ・地域共生社会の実現に向けた他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント ・看取りに関する事例 ・心疾患のある方のケアマネジメント ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント

実施期間・受講者等	内 容
	・実習振り返り ・アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習 ・研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り

(f) 介護支援専門員実務未経験者更新研修・再研修

実施期間・受講者等	内 容
12月9日 ～2月25日 (動画&web開催) 未経験者更新研修 ・受講者 115名 ・修了者 111名 再研修 ・受講者 92名 ・修了者 82名	・介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント ・人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理 ・地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源 ・生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義 ・ケアマネジメントに係る法令等の理解 ・高齢者に多い疾患等(糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群)の留意点の理解 ・自立支援のためのケアマネジメントの基本 ・介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント) ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ・地域共生社会の実現に向けた他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント ・心疾患のある方のケアマネジメント ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント ・看取りに関する事例 ・認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ・アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習

(g) 介護支援専門員研修向上委員会

期日・場所等	内 容
3月10日 (web開催) 参加者9名	(1) 令和6年度介護支援専門員法定研修の実施状況について (2) 介護支援専門員資格の更新にかかる周知協力依頼について (3) 新たな研修管理システムの構築について

②介護支援専門員実務研修受講試験の実施

(ア) 介護支援専門員実務研修受講試験

群馬県指定試験実施機関として介護支援専門員実務研修受講試験を実施した。

受験者及び合格者数等状況

期日・場所	受験申込者数	受験者数	合格者数	合格率
10月13日 前橋市	976名	880名	263名	29.89%

基本目標Ⅲ 災害福祉支援体制の強化

推進項目 1 災害に備えた体制の整備

(1) 災害福祉支援ネットワークの機能強化

福祉避難所を含む災害時に福祉施設が果たす役割等が有効に機能するように、平時からの関係者間の連携体制の強化を図り、要配慮者の命を守る仕組みづくりを推進した。

①介護施設等における防災リーダー養成等支援事業

(ア) B C P 策定支援アドバイザーの養成

期日・場所等	内 容
2月6日 前橋市 参加者 13 名	講義Ⅰ「福祉防災アドバイザーについて」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 講義Ⅱ「B C P 策定のポイント①【基礎編】」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 講義Ⅲ「B C P 策定のポイント②【地震－高齢者編】」 講師 特別養護老人ホーム桜花苑 副施設長 星野 駿人 講義Ⅳ「B C P 策定のポイント③【地震－障害者（入所）編】」 講師 障害者支援施設薫英荘 荘長 大林 喬充
2月28日 前橋市 参加者 12 名	講義Ⅳ「B C P 策定のポイント④【地震－障害者（通所）編】」 講師 サニーズマーケット 管理者 石倉 敦也 講義Ⅴ「災害備蓄及び非常電源等の対策について」 講師 障害者支援施設誠光荘 支援部長 藤井 友和 講義Ⅵ「B C P 策定のポイント⑤【受援計画】」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 講義Ⅶ「B C P 策定のポイント⑥【風水害編】」 講師 障害者支援施設かんなの里 副施設長 高橋 卓也 講義Ⅸ「B C P 策定のポイント⑦【土砂災害編】」 講師 障害者支援施設誠光荘 支援部長 藤井 友和 講義Ⅹ「事業継続マネジメント（BCM）について」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明

(イ) 事業継続マネジメントアドバイザーの養成

期日・場所等	内 容
1月17日 前橋市 参加者16名	実践報告「事業継続マネジメント（BCM）の取り組みについて」 報告者 障害者支援施設 誠光荘 支援部長 藤井 友和 演習「事業継続マネジメント（BCM）の組み立て方と チェックポイントについて」 講師 障害者支援施設 誠光荘 支援部長 藤井 友和 特別養護老人ホーム桜花苑 副施設長 星野 駿人 サニーズマーケット 管理者 石倉 敦也 障害者支援施設薫英荘 荘長 大林 喬充

(ウ) 福祉避難所運営アドバイザーの養成

期日・場所等	内 容
3月4日 前橋市 参加者14名	講義「福祉避難所について」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 実践報告「福祉避難所モデル訓練の実施状況について」 講師 障害者支援施設赤城野荘 施設長 深津 了寛 演習「福祉避難所運営シミュレーション」 講師 障害者支援施設 誠光荘 支援部長 藤井 友和 特別養護老人ホーム桜花苑 副施設長 星野 駿人 特別養護老人ホーム永光荘 管理部長 滝田 直衛

②施設間連携による相互応援体制の強化

(ア) 災害福祉支援ネットワーク全体検討会

期日・場所等	内 容
6月24日 前橋市 参加者27名	協議事項 (1) 令和6年度群馬県災害福祉支援ネットワークの取り組み (2) 令和6年度相互応援協定運用に関する図上訓練 (3) 令和6年度災害派遣福祉チーム関係研修 (4) 全国経営協 災害福祉支援体制構築助成事業の活用

(イ) 施設間連携部会等

期日・場所等	内 容
6月24日 前橋市 参加者8名	報告・検討 ・令和6年度相互応援協定運用に関する情報伝達訓練について
7月29日 前橋市 参加者10名	事務局・担当者会議 ・令和6年度相互応援協定運用に関する情報伝達訓練について

期日・場所等	内 容
3月6日 (web開催) 参加者5名	施設間連携部会 ・令和6年度訓練の振り返りについて ・令和7年度計画について

(ウ) 地域における連携体制の構築のための情報交換

期日・場所等	内 容
9月9日 長野原町 参加者44名	社会福祉施設に対する訓練実施説明会 ・令和6年度訓練の実施について
12月16日 長野原町 参加者34名	振り返り及び災害等に関する情報交換会 報告事項 ・情報伝達訓練の実施状況について 情報交換 ・訓練実施にあたっての感想や課題等について ・今後の連携について

③施設の事業継続計画（BCP）の策定支援

期日・場所等	内 容
7月22日 (web開催) 参加者6名	甘楽町社協BCP策定研修への協力 ・「BCP（事業継続計画）策定のポイント」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
9月26日 桐生市 参加者24名	桐生みやま園BCP策定研修への協力 ・福祉施設における「BCP（事業継続計画）策定のポイント」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
11月22日 藤岡市 参加者8名	社会福祉法人かな会への協力 障害者支援施設かなの里BCP策定研修 ・「事業継続マネジメント（BCM）のポイント」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明

④施設の事業継続マネジメント（BCM）の支援

期日・場所等	内 容
6月14日 (web開催) 参加者6名	社会福祉法人昭和ゆたか会 障害福祉サービス事業所ライフ職員研修会 ・「BCP（事業継続計画）に基づくシミュレーション」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
10月28日 太田市 参加者27名	太田市社会福祉施設連絡会 研修会 ・「災害時に各施設が困ること、地域で助け合えること」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明

期日・場所等	内 容
3月18日 嬭恋村 参加者 32 名	嬭恋村社会福祉協議会職員研修会 ・「BCP（事業継続計画）に基づくシミュレーション」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明

⑤福祉避難所の受入体制と機能強化

期日・場所等	内 容
8月20日 (web 開催) 参加者 16 名	福祉避難所モデル訓練開催にかかる検討会①の開催 ・概要説明「福祉避難所モデル訓練の取り組みについて」 ・実践報告「福祉避難所モデル訓練の実践から」 報告者 障害者支援施設誠光荘 支援部長 藤井 友和
9月19日 (web 開催) 参加者 10 名	福祉避難所モデル訓練開催にかかる検討会②の開催 ・災害想定について ・訓練フローについて ・様式について
10月16日 前橋市 参加者 75 名	福祉避難所モデル訓練の開催 ・要配慮者情報のスクリーニング ・福祉施設の被害状況調査 ・福祉避難所の開設及び要配慮者受入訓練 ・食事提供訓練
11月8日 (web 開催) 参加者 8 名	福祉避難所モデル訓練アドバイザー振り返り会議の開催 ・訓練で気づいたこと、課題と感じたこと ・シミュレーションキットの検討について
12月26日 前橋市 参加者 45 名	前橋市福祉避難所開設・運営訓練の開催 ・施設内受入スペースの整備 ・要配慮者情報のスクリーニング ・福祉避難所の開設及び要配慮者受入調整訓練
1月9日 (web 開催) 参加者 18 名	福祉避難所モデル訓練振り返り会議 ・訓練実施報告 ・行政・社協等関係者からの気づきや課題 ・アドバイザーからの助言

(2) 災害派遣福祉チーム（ぐんまDWA T）の機能強化

災害時に備え、平時からの訓練や研修、連絡会議等を通じて、行政・保健・医療と福祉の連携体制の整備を図った。

また、令和6年能登半島地震の支援として、災害派遣福祉チーム（ぐんまDWA T）を継続して派遣し、石川DWA Tへの伴走支援を行いながら、避難生活を送る要配慮者への生活支援を実施した。

①個別避難計画策定セミナー

(ア) 個別避難計画作成促進セミナー

期日・場所等	内 容
8月9日 (web開催) 参加者 49名	基調講演 「個別避難計画のツボ～声掛け、ハザード、さんぽ～」 講師 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 教授 鍵屋 一 行政説明 「個別避難計画作成の加速化に向けた 市町村への取組支援について」 講師 群馬県地域福祉課 地域福祉専門推進員 相馬 亜里沙
2月12日 前橋市 参加者 32名	作成促進編研修会 講義・演習「災害時要配慮者支援の動向と個別避難計画」 講師 駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻 教授 川上 富雄

(イ) テーマ別個別避難計画作成研修会

期日・場所等	内 容
9月11日 前橋市 参加者 71名	福祉専門職編研修会 講演・演習「福祉専門職と進める誰一人取り残さない地域づくり」 講師 日本社会事業大学専門職大学院 講師 北川 進
12月24日 前橋市 参加者 71名	難病患者・医ケア児編研修会 説明「難病患者・医療的ケア児等に関する個別避難計画の作成方針について」 説明者 群馬県地域福祉課 地域福祉専門推進員 相馬 亜里沙 群馬県感染症・疾病対策課 副主幹 五十嵐 友喜 群馬県児童福祉課 副主幹 大友 由香 講演「医療的ケア児等に必要な災害時支援と個別避難計画の繋がりについて」 講師 清泉女学院大学大学院看護学研究科看護学専攻 教授 北村 千章 演習「難病患者・医ケア児等の個別避難計画作成に必要な視点」 講師 清泉女学院大学大学院看護学研究科看護学専攻 教授 北村 千章

(ウ) 個別避難計画と連動した防災イベント

期日・場所等	内 容
3 月 9 日 渋川市 参加者 138 名	群馬県防災わくわく体験会 ・ 展示「ハイブリッド車の非常用電源活用について」 協力 群馬トヨタグループ（株） / （株）フィリップス・ジャパン ・ 展示「段ボールベッド&テント体験」 担当 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター ・ 講話「いざという時に備える防災講話」 協力 渋川医療センター 室長 山寄 利紘 小児医療センター 臨床工学技士 下田 隼人 群馬県地域福祉課 地域福祉専門推進員 相馬 亜里沙 ・ 展示「非常食試食コーナー」 協力 ホリカフーズ（株） ・ 展示「ユニバーサルシート付トレーラー」 協力 笑って子育てロリポップ

(エ) 個別避難計画チーム会議への参加

期日・場所等	内 容
8 月 20 日 前橋市 12 月 13 日 前橋市	個別避難計画チーム会議（第 9 回） ・ 個別避難計画の効率的な作成プロセスの検討 等 個別避難計画チーム会議（第 10 回） ・ 難病患者・医療的ケア児等の個別避難計画作成について 等

(オ) 個別避難計画関連研修への参加

期日・場所等	内 容
3 月 22 日 長野市	医療的ケア児の災害時の備え ・ 医療的ケア児の災害時の状況と備え ・ 熊本県における医療的ケア児の災害時の訓練 ～地域住民との協働の実際～ ・ 長野市の指定福祉避難所決定までのプロセス

②避難所アセスメント・モニタリング研修会

(ア) 避難所アセスメント・モニタリング研修会の開催

期日・場所等	内 容
10 月 24 日 前橋市 参加者 30 名	避難所アセスメント・モニタリング研修会Ⅰの開催 講義「避難所におけるアセスメントとモニタリング」 講師 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 教授 原田 奈穂子 講義「群馬県における災害時保健医療福祉活動の実際」 講師 群馬県内各保健医療福祉活動チーム代表者 講義・演習「避難所におけるアセスメントとモニタリングと 避難所の環境改善に向けた各機関の連携を進めるために」 講師 芝浦工業大学システム理工学部 教授 市川 学

期日・場所等	内 容
12 月 11 日 前橋市 参加者 76 名	保健医療福祉活動チーム編の開催 講義「避難所アセスメントを進めるために保健医療福祉活動チームの果たす役割」 講師 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 教授 原田 奈穂子 講義・演習「避難所アセスメントを進めるために保健医療福祉活動チームに求められること」 講師 芝浦工業大学システム理工学部 教授 市川 学
12 月 18 日 前橋市 参加者 30 名	避難所アセスメント・モニタリング研修会Ⅱの開催 講義Ⅰ「避難所におけるアセスメントとモニタリング」 講師 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 教授 原田 奈穂子 講義Ⅱ「群馬県における地域での取組実践について」 講師 群馬県健康福祉部健康福祉課 調整・DX推進係 主任 中村 亮祐 講義Ⅲ「渋川保健福祉事務所の取組について」 講師 渋川保健福祉事務所 危機管理専門官 小池 幹義 講義Ⅳ「藤岡保健福祉事務所の取組について」 講師 藤岡保健福祉事務所 危機管理専門官 永井 正秀 講義・演習「避難所の環境改善に向けた県の保健福祉事務所と市町村の防災・医療・保健・福祉等の連携を進めるために」 講師 芝浦工業大学システム理工学部 教授 市川 学

③車中避難の普及・啓発等支援

(ア) 車中避難研修会の開催

期日・場所等	内 容
11 月 20 日 前橋市 参加者 30 名	講義Ⅰ「群馬県避難ビジョンにおける車中避難の考え方」 講師 群馬県総務部危機管理課避難対策係 主事 佐藤 健太 講義Ⅱ「車中避難実施における注意点について」 講師 さんすい防災研究所 代表 山崎 水紀夫 体験プログラム ・「車中履くソックス、車中避難体験」 ・「トヨタ車両（EV 給電等）見学」 講師 トヨタ自動車株式会社 社会貢献推進部 諸留 逸 群馬トヨタグループ株式会社経営企画部 五十嵐 佳之 講義・ワークショップ「車中避難のために、行政が備えておくこと」 講師 さんすい防災研究所 代表 山崎 水紀夫

④保健・医療・福祉の連携体制の整備

(ア) 保健福祉事務所と連携した避難所運営研修

期日・場所等	内 容
7月3日 桐生市 参加者 45 名	桐生保健福祉事務所と共催 研修「大規模風水害接近～通過までの24時間の疑似体験」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
7月3日 桐生市 参加者 48 名	桐生保健福祉事務所と共催 研修「風水害発生時の避難所運営（HUG風水害バージョン）」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
8月19日 桐生市 49 名	桐生保健福祉事務所、桐生市役所、みどり市役所の協力 演習「避難所運営支援チームの派遣シミュレーション」 進行 ぐんまDWA T 平時の活動調査・研究委員会 講義「能登半島地震における災害派遣福祉チームの活動の実際」 講師 特別養護老人ホームやまつつじ 理学療法士 南川 基治 演習「避難者のアセスメントと他職種連携を考える」 講師 群馬リハビリテーション病院 地域連携室長 小川 晋平
8月26日 安中市 参加者 72 名	安中保健福祉事務所と共催 講演1「避難行動について考える～ これまでの風水害からの教訓」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 講演2「災害関連死を防ぐ」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 演習「ハザードマップを読み解く」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
9月25日 沼田市 参加者 33 名	利根沼田振興局と共催 講演「能登半島地震における避難所の避難者支援について」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 演習「避難所運営ゲーム（HUG）による模擬訓練」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
10月11日 館林市 参加者 36 名	館林保健福祉事務所と共催 研修1「風水害発生時の避難所運営（HUG風水害編）」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 研修2「避難所情報分析アセスメント」 講師 館林保健福祉事務所 危機管理専門官 岡田 三千恵

期日・場所等	内 容
10月17日 前橋市 参加者 37 名	演習「避難所運営支援チームの派遣シミュレーション」 進行 ぐんまDWA T 平時の活動調査・研究委員会 講義「能登半島地震における災害派遣福祉チームの活動の実際」 講師 サニーズマーケット 管理者 石倉 敦也 演習「避難者のアセスメントと他職種連携を考える」 講師 群馬大学医学部附属病院 患者支援センター ソーシャルワーカー 青木 優一
1月21日 前橋市 参加者 55 名	前橋市保健所、高崎市役所の協力 演習「避難所運営支援チームの派遣シミュレーション」 進行 ぐんまDWA T 平時の活動調査・研究委員会 講義・演習「災害派遣福祉チームの活動特性を知る」 講師 群馬リハビリテーション病院 地域連携室長 小川 晋平 演習「避難者のアセスメントと他職種連携を考える」 講師 みまもりハウス 代表 篠原 智哉
2月14日 太田市 参加者 26 名	太田保健福祉事務所と共催 講義・演習「風水害発生時の避難所運営（HUG風水害編）」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
2月19日 伊勢崎市 参加者 25 名	伊勢崎保健福祉事務所と共催 講義・演習「避難所で起こり得る状況への対応を考える ～避難所運営（HUG）を通して～」 講師 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明

(イ) DMA T 関東ブロック訓練への協力

期日・場所等	内 容
3月1日 前橋市 参加者 7 名	(1) 県保健医療福祉調整本部訓練 (2) 避難所情報の分析訓練 (3) 被災した社会福祉施設の支援調整訓練 (4) 活動チーム員の募集訓練

⑤チーム員の資質向上に向けた取組強化

(ア) 分野別研究会（高齢者支援）

期日・場所等	内 容
11月27日 (web 開催) 参加者 11 名	(1) 避難所アセスメント・モニタリング研修会について (2) 車中避難研修会について (3) 今後の研究会の取り組みについて
3月24日 (web 開催) 参加者 9 名	(1) 避難生活支援リーダー／サポーター研修について (2) リエゾン機能準備委員会発足について (3) 今後の研究会の取り組みについて

(イ) 分野別研究会（障害者支援）

期日・場所等	内 容
7 月 5 日 (web 開催) 参加者 10 名	(1) 群馬県避難所運営ガイドライン（案）について (2) ぐんまDWA Tの活動概要について (3) 『HAWAI LOVE TOWN IN ぐんま』への協力について (4) 『障害のある人を支援する防災研修会』への協力について (5) 今後の研究会の取り組みについて
10 月 8 日 (web 開催) 参加者 9 名	(1) 能登半島地震におけるぐんまDWA Tの活動概要について (2) 福祉避難所モデル訓練について (3) 『HAWAI LOVE TOWN IN ぐんま』への協力について (4) 今後の研究会の取り組みについて

(ウ) 分野別研究会（子ども・女性支援）

期日・場所等	内 容
7 月 30 日 前橋市 参加者 7 名	(1) 群馬県避難所運営ガイドライン（案）について (2) ぐんまDWA Tの活動概要について (3) 避難所で役立つ子どもへの支援、関わり方について (4) 避難所で求められる女性への支援、関わり方について (5) 避難所のその後を考えた支援について
10 月 18 日 (web 開催) 参加者 7 名	(1) 群馬県避難所運営ガイドラインとの照らし合わせについて (2) 災害の前にできる子ども、女性への支援について
3 月 14 日 (web 開催) 参加者 6 名	(1) 群馬県避難所運営ガイドラインとの照らし合わせについて (2) 今後の進め方について

(エ) 分野別研究会（機能強化）

期日・場所等	内 容
7 月 30 日 前橋市 参加者 12 名	地域連携支援に関する検討準備会の開催 (1) 「能登半島地震におけるぐんまDWA Tの活動概要について」 (2) 「避難所の福祉支援活動からの地域移行への取り組み」 話題提供者 長泉町社会福祉協議会 主査 渡邊 麻由 (3) 「避難生活フェーズの変化に伴う地域連携に求められるもの」 助言者 日本社会事業大学専門職大学院 講師 北川 進
3 月 10 日 前橋市 参加者 10 名	DWA Tリエゾン機能に関する検討準備会の開催 (1) 「保健医療福祉調整本部の動きについて」 (2) 「D 2 4 Hの導入に見るDWA Tに求められる役割について」 (3) 「研修及び訓練プログラムの検討について」
3 月 29 日 (web 開催) 参加者 17 名	スフィアに関する勉強会の開催 講義・演習「スフィアとは」 講師 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 教授 原田 奈穂子

(オ) 群馬県災害派遣福祉チーム員登録研修

期日・場所等	内 容
8 月 21 日 前橋市 参加者 17 名	研修Ⅰ「群馬県災害福祉支援ネットワークの機能と役割について」 講師 群馬県健康福祉部地域福祉課 主任 浅川 修平 研修Ⅱ「災害時の保健医療活動と福祉活動の連携について」 講師 群馬県健康福祉部健康福祉課 主任 中村 亮祐 研修Ⅲ「避難所における公衆衛生活動について」 講師 群馬県健康福祉部医務課補佐兼看護係長 入澤 美幸 研修Ⅳ「避難所・避難生活を支えるために」 講師 ピースボート災害支援センター 辛嶋 友香里 研修Ⅴ「災害時の要配慮者について」 講師 華頂短期大学 教授 武田 康晴

(カ) 群馬県災害派遣福祉チーム員養成研修

期日・場所等	内 容
7 月 16 日 前橋市 参加者 19 名	研修Ⅰ「群馬県災害福祉支援ネットワークの仕組みと 災害派遣福祉チームの役割について」 講師 群馬県健康福祉部地域福祉課 主任 浅川 修平 研修Ⅱ「避難所・避難生活を支えるために」 講師 ピースボート災害支援センター 辛嶋 友香里 研修Ⅲ「災害時要配慮者の視点で避難所運営を考える」 講師 ぐんま DWA T 研修・企画に関する検討会委員
7 月 30 日 前橋市 参加者 16 名	研修Ⅳ「災害時の要配慮者支援の実際について①」 講師 華頂短期大学 教授 武田 康晴 研修Ⅴ「災害時の要配慮者支援の実際について②」 講師 華頂短期大学 教授 武田 康晴 研修Ⅵ「運営支援者に求められるもの」 講師 Office SONOZAKI 代表 園崎 秀治

(キ) 千葉県災害派遣福祉チーム受援訓練への協力

期日・場所等	内 容
1 月 28 日 ～1 月 31 日 前橋市 参加者 6 名	(1) 千葉県災害派遣福祉チーム事務局との連絡調整訓練 (2) チーム員の安否確認訓練 (3) チーム員の募集訓練 (4) チーム編成会議

⑥社協災害ボランティアセンターとの連携強化

(ア) DWA T 派遣シミュレーション

期日・場所等	内 容
10 月 17 日 前橋市 参加者 37 名	(1) 配慮スペース設置訓練 (2) なんでも相談対応訓練 (3) 段ボールベッド組立訓練 (4) 要配慮者アセスメント訓練 (5) 生活支援ボランティアの需給調整訓練

⑦令和6年能登半島地震における災害派遣福祉チーム（DWA T）による支援

石川県及び全国社会福祉協議会・災害福祉支援ネットワーク中央センターからの要請により、「群馬県災害派遣福祉チーム」を派遣し、避難生活を送る要配慮者を支える活動を行った。

（ア）群馬県災害派遣福祉チーム（ぐんまDWA T）の避難所への応援派遣

期日・場所等	内 容
4月 1日 ～6月30日 金沢市 参加者 55名	金沢市1.5次避難所における石川DWA T活動の支援 (1) 保健医療福祉チーム連携 (2) 要配慮者へのアセスメント（状態評価、意向調査等） (3) 相談支援（なんでも相談） (4) 生活環境改善 (5) 日常生活支援 (6) DWA T活動にかかるロジスティクス活動
5月15日 6月28日 輪島市 2名	輪島市内避難所への巡回支援 (1) 要配慮者へのアセスメント（意向調査） (2) 相談支援（退所支援） (3) 生活環境改善

（イ）コーディネーターの派遣による現地の連携体制の構築支援

期日・場所等	内 容
4月 1日 ～6月30日 金沢市 参加者 31名	金沢市1.5次避難所における福祉支援活動の調整 (1) 応援府県DWA Tの活動調整 (2) 医療・保健等チームとの支援調整 (3) 介護職員の応援派遣者の活動調整 (4) 福祉関係団体、ボランティア団体等との活動調整

⑧令和6年能登半島地震における災害派遣福祉チーム（DWA T）活動の振り返り

（ア）能登半島地震に伴う群馬県災害派遣福祉チーム活動報告会

期日・場所等	内 容
9月3日 前橋市 参加者 100名	活動概要報告 「能登半島地震における DWAT 活動の概要について」 報告者 群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明 活動報告 「1月の活動概要～立ち上げ期」 報告者 はるな郷生原ホーム事業所 管理者 関 芳典 「2～3月の活動概要～地域リーダー制」 報告者 特別養護荘人ホームやまつつじ 理学療法士 南川 基浩 「4月の活動概要～支援の縮小」 報告者 サニーズマーケット 管理者 石倉 敦也 「5～6月の活動概要～石川県への引継」 報告者 特別養護荘人ホーム桜花苑 副施設長 星野 駿人 総括質疑・意見交換

推進項目２ 災害ボランティア活動への支援

（１）多様な災害ボランティア関係団体との連携

災害ボランティアセンターの運営をはじめとする災害時の対応は、ボランティアや様々な関係機関・団体等の連携・協働により進められるため、災害時に備え、平時からの連携体制を推進した。

①多様な関係団体とのネットワーク強化

（ア）関係団体の研修会協力

期日・場所	内 容
4月5日 桐生市 36名	コープぐんま幹部会議学習会への講師協力 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 主任 渡辺 匠海
6月27日 前橋市 15名	災害ボランティアぐんま総会での講師協力 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 主任 渡辺 匠海

（イ）関係団体・企業との協定の推進

期日・場所等	内 容
9月24日 前橋市	株式会社ダイナムと災害時等における施設利用等の協力や支援活動に関する協定を締結
1月16日 高崎市	群馬弁護士会との災害時における連携協定に向けた協議
2月13日 前橋市	群馬トヨタグループ(株)と包括連携協定に向けた協議
2月4日 2月17日 3月26日 安中市・桐生市	青年会議所各LOMとの協定に向けた協議 日本青年会議所群馬ブロック協議会 桐生青年会議所、桐生市社協、みどり市社協

（２）災害ボランティアセンターの運営支援

災害ボランティアセンターを取り巻く環境が変化する中、災害のフェーズ（平時、発災時、復旧期、復興期）や関係機関・団体等と連携を意識しながら総合的な対応ができるよう、研修や会議等を通し、災害支援者の資質向上や体制整備を図った。

また、令和6年能登半島地震の発生に伴い、現地の災害ボランティアセンターへの応援職員の派遣を実施した。

①市町村災害ボランティアセンターの設置・運営支援

(ア) 協働型災害ボランティアセンター運営研修 (群馬県との共催)

期日・場所等	内 容
11 月 19 日 前橋市 参加者 110 名	講義「令和 6 年能登半島地震に被災地支援から見えてくる 協働型災害ボランティアセンター～被災地社協の心の声～」 講師 一般社団法人 B I G U P 石巻 代表取締役理事 阿部 由紀 報告 高崎市社会福祉協議会 吉井支所長 関口 純一 館林市社会福祉協議会 主事 飯島 弘敏 NPO 法人よりきど暮しの会 代表 月橋 章 輪島市社会福祉協議会 事務局長 田中 昭二

(イ) 災害ボランティアセンターにかかる担当者会議

期日・場所等	内 容
2 月 26 日 前橋市 参加者 38 名	都道府県・指定都市社協災害 VC 担当者連絡会議の要旨報告 報告者 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 主任 渡辺 匠海 令和 6 年能登半島地震・奥能登豪雨にかかる振り返り グループ協議

(ウ) 市町村社会福祉協議会による災害ボランティアセンター設置・運営訓練への協力・参加

期日・場所等	内 容
10 月 9 日 太田市	太田市社会福祉協議会災害ボランティアセンター訓練への協力
11 月 15 日 前橋市	前橋市社会福祉協議会災害ボランティアセンター訓練への協力
11 月 17 日 藤岡市	藤岡市社会福祉協議会災害ボランティアセンター訓練への協力
11 月 23 日 館林市	館林市社会福祉協議会災害ボランティアセンター訓練への協力
12 月 14 日 邑楽町	邑楽郡 3 町合同災害ボランティアセンター訓練への協力
1 月 25 日 みどり市	みどり市社会福祉協議会災害ボランティアセンター訓練への協力
1 月 27 日 桐生市	桐生市社会福祉協議会災害ボランティアセンター訓練への協力
3 月 5 日 沼田市	沼田市社会福祉協議会災害ボランティア養成講習会への参加
3 月 16 日 みどり市	みどり市社会福祉協議会災害ボランティアセンター訓練への参加

(エ) 市町村社会福祉協議会に対する協働型災害ボランティアセンター運営者養成研修助成

助成額等	内 容
3 社協に助成 100,000 円×3 社協	協働型災害ボランティアセンター運営者養成研修にかかる経費助成 ・ 館林市社会福祉協議会 ・ 藤岡市社会福祉協議会 ・ 邑楽町社会福祉協議会

②災害時における市町村社協の体制整備支援

(ア) 社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置運営・資機材プラットフォーム会議

期日・場所等	内 容
7 月 4 日 昭和村 参加者 10 名	利根沼田地区 (1) 配置された資機材の確認・整備作業 (2) 今後の取り組みについて (3) その他
8 月 29 日 甘楽町 参加者 15 名 9 月 30 日 甘楽町 参加者 12 名	西部地区① (1) 配置された資機材の確認・整備作業 (雨天のため持ち越し) (2) 今後の取り組みについて (3) その他 西部地区② (1) 配置された資機材の確認・整備作業 (2) 今後の取り組みについて (3) その他
9 月 30 日 桐生市 参加者 11 名	東部地区 (1) 配置された資機材の確認・整備作業 (2) 今後の取り組みについて (3) その他
10 月 10 日 東吾妻町 参加者 9 名	吾妻地区 (1) 配置された資機材の確認・整備作業 (2) 今後の取り組みについて (3) その他
2 月 26 日 前橋市 参加者 38 名	群馬県内社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置運営・ 資機材プラットフォーム連絡会議 (災害ボランティアセンターにかかる担当国会議との併催)
3 月 11 日 渋川市 参加者 7 名	中部地区 (1) 配置された資機材の確認・整備作業 (2) 今後の取り組みについて (3) その他

③市町村社協の事業継続計画（ＢＣＰ）策定の推進

（ア）市町村社会福祉協議会事業継続計画（ＢＣＰ）策定研修会

期日・場所等	内 容
9 月 18 日 前橋市 参加者 32 名	講義 事業継続計画（ＢＣＰ）の策定・見直し、アップデートについて 講師 日本社会事業大学大学院 福祉マネジメント研究科 （専門職大学院） 講師 北川 進 実践報告 吉岡町社会福祉協議会 主事 廣橋 健人 安中市社会福祉協議会 課長 岡本 祐介

（イ）事業継続計画（ＢＣＰ）推進事業への助成

災害時における、事業継続と地域の要配慮屋の安否確認、地域活動等の優先順位を判断するために必要となる事業継続計画策定のために 1 か所に対して助成を行った。

助成額等	内 容
1 か所 96,470 円	呂楽町社協 災害時の 3 町合同初動訓練、ＢＣＰ訓練等経費

④災害ボランティア活動助成事業

（ア）県災害ボランティア活動助成事業

「令和 6 年能登半島地震」による災害ボランティア活動に対し、本助成事業を実施した。

【申請団体】

申請	内 容
6 か所 1,068,327 円	災害ボランティアネットワーク桐生 （申請額）200,000 円 （助成額）200,000 円 NPO 法人 夢未来 21 （申請額）200,000 円 （助成額）200,000 円 NPO 法人よりきど暮らしの会 （申請額）200,000 円 （助成額）107,827 円 災害支援会 （申請額）200,000 円 （助成額）200,000 円 桐生市ボランティア協議会 （申請額）200,000 円 （助成額）200,000 円 NPO 法人ふるさと再生ネットワーク （申請額）160,500 円 （助成額）160,500 円

⑤令和 6 年能登半島地震への支援活動

（ア）災害時の相互支援に関する協定に基づく派遣（関東ブロック）

関東ブロック A 幹事県である千葉県社協から応援要請があり、「関東甲信越静ブロック都県指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき以下の被災地域へ応援職員を派遣した。

派遣先	派遣期間・人数	内 容
穴水町	① 4月16日～4月22日(3名) ② 5月 2日～5月 8日(2名) ③ 5月10日～5月16日(3名)	被災地における災害ボランティアセンターの運営支援 (1) ニーズ受付支援 (2) 現地調査支援 (3) 資機材支援 (4) ニーズ管理支援 (5) ボランティア調整支援 (6) 他の支援団体との調整支援 (7) その他、被災地社協から依頼のあった業務支援
志賀町	① 4月16日～4月22日(3名)	
輪島市	① 5月 2日～5月 8日(4名) ② 5月14日～5月20日(4名) ③ 5月26日～6月 1日(4名) ④ 6月 7日～6月13日(4名) ⑤ 6月19日～6月25日(4名) ⑥ 7月 1日～7月 7日(4名) ⑦ 7月13日～7月19日(4名) ⑧ 7月25日～7月31日(4名) ⑨ 8月10日～8月16日(4名) ⑩ 9月 7日～9月13日(4名) ⑪11月27日～12月 3日(4名)	
派遣者合計：55名(県社協17名、市町村社協38名)		

推進項目３ 感染症に対応した体制の整備

（１）感染症発生時の社会福祉施設への支援

社会福祉施設における感染症対策の強化を図るために、平時からの標準予防策の徹底や万
一に備えた対応方法等を学び、防疫力を高めた施設運営を推進した。

①平時からの防疫活動の強化

（ア）福祉施設等に対する感染症対応訓練

期日・場所等	内 容
8 月 30 日 渋川市 参加者 19 名	障害者支援施設誠光荘における感染症ＢＣＰ対応訓練の開催 演習「感染クラスター８」を活用したシミュレーション 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
10 月 29 日 桐生市 参加者 24 名	桐生みやま園における感染症ＢＣＰ対応訓練の開催 演習「感染クラスター８」を活用したシミュレーション 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
11 月 6 日 片品村 参加者 12 名	特別養護老人ホーム桜花苑における感染症ＢＣＰ対応訓練の開催 演習「感染クラスター８」を活用したシミュレーション 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
8 月 30 日 桐生市 参加者 20 名	桐生みやま園における感染症ＢＣＰ対応訓練の開催 演習「感染クラスター８」を活用したシミュレーション 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明

②施設の応援職員の派遣体制の充実・強化

（ア）継続した専門研修

期日・場所等	内 容
8 月 30 日 渋川市 参加者 19 名	障害者支援施設誠光荘における感染症ＢＣＰ研修の開催 動画視聴「感染成立の３要因とその対応」 講義「感染症ＢＣＰ策定のポイント」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
10 月 29 日 桐生市 参加者 24 名	桐生みやま園における感染症ＢＣＰ研修の開催 動画視聴「感染成立の３要因とその対応」 講義「感染症ＢＣＰ策定のポイント」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明
11 月 6 日 片品村 参加者 12 名	特別養護老人ホーム桜花苑における感染症ＢＣＰ研修の開催 動画視聴「感染成立の３要因とその対応」 講義「感染症ＢＣＰ策定のポイント」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明

期日・場所等	内 容
1 月 24 日 桐生市 参加者 20 名	桐生みやま園における感染症 B C P 研修の開催 動画視聴「感染成立の 3 要因とその対応」 講義「感染症 B C P 策定のポイント」 講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター 所長 鈴木 伸明

③種別協議会との連携による支援体制の充実・強化

(ア) 図上訓練の開催

期日・場所等	内 容
12 月 4 日 前橋市 参加者 45 名	群馬県知的障害者福祉協会における感染症 B C P 対応訓練の開催 演習「感染クラスター 8」を活用したシミュレーション 講師 障害者支援施設誠光荘 支援部長 藤井 友和

(2) 感染症予防に向けた取組の強化

感染症予防対策として、平時からの事務局のワークスタイルを変更していくとともに、災害時の支援体制についても感染症対策を踏まえた体制整備を図った。

①感染症対策を含む多様な変化に対応したワークスタイルの導入・活用

感染症対策 B C P（事業継続計画）を周知するとともに、職場内の対策として、在宅ワークを含む勤務体制を継続実施し、職員のテレワーク推進を図った。

②感染症対策を踏まえた避難所運営の体制整備

(ア) ぐんま D W A T に対するコロナ禍での避難所運営研修

期日・場所等	内 容
10 月 17 日 前橋市 参加者 37 名	演習「避難所運営支援チームの派遣シミュレーション」 進行 ぐんま D W A T 平時の活動調査・研究委員会 講義「能登半島地震における災害派遣福祉チームの活動の実際」 講師 サニーズマーケット 管理者 石倉 敦也 演習「避難者のアセスメントと他職種連携を考える」 講師 群馬大学医学部附属病院 患者支援センター ソーシャルワーカー 青木 優一

(イ) 行政・医療・保健分野と一体的に進める訓練

期日・場所等	内 容
10 月 17 日 前橋市 参加者 37 名	演習「避難所運営支援チームの派遣シミュレーション」 進行 ぐんま D W A T 平時の活動調査・研究委員会 講義「能登半島地震における災害派遣福祉チームの活動の実際」 講師 サニーズマーケット 管理者 石倉 敦也 演習「避難者のアセスメントと他職種連携を考える」 講師 群馬大学医学部附属病院 患者支援センター ソーシャルワーカー 青木 優一

③感染症対策を踏まえた災害ボランティアセンターの体制整備

(ア) 感染症対策を踏まえた災害ボランティアセンターの設置・運営訓練

邑楽町・大泉町・千代田町の3町合同の災害ボランティアセンター設置・運営訓練（12月14日（土））の中で、ボランティアのマッチング待機スペースの座席間隔を空ける等、感染症対策を考慮した訓練を実施した。

基本目標Ⅳ 県社協の組織基盤の強化

推進項目 1 組織体制の強化

(1) 人材育成の強化

県社協職員としての専門性や資質の向上に向けた取組環境を整備するとともに、人事評価制度の運用を行った。また、社会福祉士資格取得を希望する学生の実習を受け入れた。

①職員研修の整備・充実

(ア) 資質向上研修の実施

期日・場所等	内 容
5 月 21 日 5 月 28 日 6 月 4 日 6 月 10 日 前橋市 (集合開催) 参加者 5 名	令和 6 年度群馬県社会福祉協議会 新任職員研修 ・ 県の福祉施策について ・ 文書事務について ・ 求められる職員像について (人事評価制度) ・ 法人運営について ・ 経理規程、会計処理、旅費規程について ・ 就業規則、給与規程、福利厚生について ・ 各課の概要について ・ 県派遣報告
10 月 15 日 前橋市 (集合開催) 参加者 59 名	障害者差別解消に係る職員研修会 ・ 障害者差別解消法の目的 ・ 不当な差別的取扱いの禁止、合理的配慮の提供 ・ 合理的配慮の具体例 講師 群馬県障害政策課社会参加推進係長 相馬 義昭

(イ) 群馬県福祉マンパワーセンター主催研修派遣

期日・場所等	内 容
8 月～9 月 2 日間 前橋市 (集合開催) 参加者 5 名	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「初任者コース」 ・ 福祉サービスの特性と専門職としての学び ・ キャリアパスの構造と新任職員に求められる能力 ・ 福祉専門職に求められるコミュニケーション能力
9 月 11 日 9 月 25 日 前橋市 (集合開催) 参加者 1 名	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「中堅職員コース」 ・ 福祉サービスの特性と専門職としての学び ・ キャリアパスの構造と中堅職員に求められる能力 ・ 福祉専門職に求められるコミュニケーション能力
10 月～11 月 2 日間 前橋市 (集合&web 開催) 参加者 2 名	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程「チームリーダーコース」 ・ 福祉サービスの特性と専門職としての学び ・ キャリアパスの構造とチームリーダーに求められる能力 ・ 福祉専門職に求められるコミュニケーション能力

(ウ) 全国社会福祉協議会主催研修派遣

期日・場所等	内 容
9 月～10 月 3 日間 神奈川県 (集合開催) 参加者 3 名	「社会福祉法人会計実務講座（初級コース）」 ・社会福祉法人会計の仕訳 ・決算書の構造 ・仕訳から決算書作成までのプロセス ・社会会福祉法人会計基準に基づく日常の取引の会計処理
10 月 31 日 ～11 月 2 日 神奈川県 (集合開催) 参加者 6 名	「社会福祉法人会計実務講座（中級コース・社協会計）」 ・損益取引（基本金、積立金、引当金） ・決算書の読み方 ・予算制度、内部統制 ・資金使途 ・税務（法人税・所得税・消費税）
11 月 28 日～30 日 神奈川県 (集合開催) 参加者 1 名	「社会福祉法人会計実務講座（上級コース）」 ・財務分析と経営への活用 ・予算による経営管理 ・内部統制の構築方法
12 月 1 日～3 日 神奈川県 (集合開催) 参加者 3 名	「社会福祉協議会管理職員研修会」 ・クオリティコントロール ・ケーススタディ

(エ) その他研修派遣

期日・場所等	内 容
2 月 4 日 参加者 2 名	「上州雪かき道場 2024」 (片品村社会福祉協議会主催)

(オ) e ラーニング利用職員研修

期日・場所等	内 容
8 月 (web 開催) 参加者 83 名	個人情報保護研修 ・個人情報保護の最新の動向 ・個人情報の適切な取扱い
8 月 (web 開催) 参加者 83 名	情報セキュリティ研修 ・情報セキュリティの最新の動向 ・情報セキュリティを守るための適切な行動

(カ) 社会福祉士実習指導者講習会への職員派遣

期日・場所等	内 容
12 月 14～15 日 前橋市 (集合開催) 参加者 2 名	・実習指導概論 ・実習マネジメント論 ・実習プログラミング論 ・実習スーパービジョン論

②ソーシャルワーク（社会福祉士）実習の受入環境整備

（ア）社会福祉士の資格取得を希望する学生の実習受入の実施

高崎健康福祉大学社会福祉学科の受入 2名 8月 5日～9月 17日

東京福祉大学社会福祉学科の受入 1名 2月 25日～3月 5日

③総合的な人事評価システムの運用

目標管理、能力評価について、群馬県の仕組みを準用した人事評価制度を運用した。
人事評価システムを導入し、令和7年度からの運用開始に向けた準備を行った。

（２）働き方改革の推進

働き方改革の着実な実行に向けて、職員が働きやすい職場環境を整備するとともに、事務のデジタル化の促進に向けた取組を進めた。

①テレワーク環境の整備・推進

多様な働き方の実現、ワークライフバランスの充実観点からテレワークを推進した。

テレワーク実施：年 43 回

②県社協デジタル化の推進

（ア）Wi-Fiおよび新ファイアウォールの導入

正規職員、嘱託職員のパソコンを全てノートパソコンへと更新し、同時に事業所内にWi-Fi設備を導入することで業務環境の改善を図った。

また、ファイアウォールを更新することでテレワークを利用しやすくするなど、テレワーク環境の改善を図った。

③年次有給休暇取得

定期的に有給休暇の取得状況を確認し、積極的な取得への呼びかけを行った。

平均取得日数：12.2日（取得率 37.1%）

④産業医・衛生委員会の機能強化と充実

業務遂行に関連して発生する労働災害および健康障害を防止するとともに、職員の衛生管理と健康の保持増進を図るため、衛生委員会の開催や産業医による巡回指導を行った。

開催項目	実施回数	備考
衛生委員会	12回	
職員向け研修	6回	動画研修 4回 集合研修 2回
ストレスチェック	1回	職員回答率 100%

（３）情報発信の強化

県民や関係団体に向けて、本県の地域福祉活動等の情報提供を行うとともに、発信方法等についても強化を図った。

①ホームページの充実と SNS の活用

ホームページを随時更新し、各種情報提供を行った。

バナー広告掲載：6 企業・団体

②機関誌 福祉ぐんまの定期発行

社会福祉施設、市町村社協、民生委員・児童委員等本会会員向けに外部委員による編集委員会において企画を行い、本会事業や社会福祉に関する各種情報を提供した。

発行回数：年 4 回

発行実績：12,000 部×2 回、10,000 部×2 回

推進項目２ 経営基盤の強化

（１）財源基盤の強化と既存事業の見直し

安定した法人運営を行うための環境整備を進めるとともに、自主財源の確保を強化していくための取組を進めた。

①自主財源の確保

- （ア）ボランティア保険広告掲載
- （イ）書籍販売斡旋
- （ウ）ホームページへのバナー広告掲載企業募集
- （エ）封筒広告掲載企業募集

②会員拡大に向けた取組

- （ア）特別賛助会員の呼び掛け

取引業者に対して特別賛助会員入会案内を行った。特別賛助会員：１４企業・団体

- （イ）会員限定研修の実施

（ａ）会計研修（基礎Ⅰ）

期日・場所等	内 容
７月４日 (web開催) 参加者 99 名	・簿記と会計の違い ・簿記の基礎（仕訳の理解） ・会計の基礎（貸借対照表と事業活動計算書の関係） 講師 ユニビスタシステムズ株式会社 代表取締役 増淵 良昭

（ｂ）会計研修（基礎２）

期日・場所等	内 容
７月１１日 ７月１８日 ７月２５日 (web開催) 参加者 93 名	・社会福祉法人会計の目的の理解 ・資金収支計算書と予算の関係性 ・簿記の仕訳 講師 ユニビスタシステムズ株式会社 代表取締役 増淵 良昭

③寄付金の受入

区 分	金 額	受入年月日
生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会（JAIFA）群馬県協会第一生命分会	401,754 円	R6. 4. 26 法人運営へ繰入
切手古銭セキグチ	16,885 円	R6. 8. 30 振興基金へ繰入
久松商事	15,400 円	R6. 8. 30 振興基金へ繰入
匿名	100,000 円	R6. 10. 28 法人運営へ繰入
生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会（JAIFA）群馬県協会	100,000 円	R6. 1. 30 法人運営へ繰入
匿名	1,100,000 円	R6. 3. 13 振興基金へ繰入
合 計	1,734,039 円	

(2) ガバナンスの強化

法人内の監査体制や内部統制の強化を進めた。

四半期ごとの会計専門家による外部検査を通じた監査体制の整備や内部研修等によりコンプライアンスの強化を図った。

①会計専門家による検査[4回]

4半期毎に会計専門家による執行状況の点検・検査を実施した。

期日・場所等	内 容
5月9日 前橋市	令和5年度決算について点検・検査を実施 監査人 根本明人税理士事務所 税理士 根本 明人
8月7日 前橋市	令和6年度第1四半期分について点検・検査を実施 監査人 根本明人税理士事務所 税理士 根本 明人
11月8日 前橋市	令和6年度第2四半期分について点検・検査を実施 監査人 根本明人税理士事務所 税理士 根本 明人
2月10日 前橋市	令和6年度第3四半期分について点検・検査を実施 監査人 根本明人税理士事務所 税理士 根本 明人

②理事会・評議員会等

(ア) 理事会

期日・場所等	内 容
第1回 6月5日 前橋市	報告 第1号報告 会長及び常務理事の職務執行状況等について (令和5年12月1日～令和6年5月31日) 第2号報告 令和5年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算 専決処分について 第3号報告 令和6年度一般会計収支補正予算専決処分について 第4号報告 本会会員の入会にかかる専決処分について 議案 第1号議案 令和5年度事業報告について 第2号議案 令和5年度決算について 第3号議案 理事及び監事候補者の選定(欠員補充)について 第4号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任(欠員補充)に ついて 第5号議案 評議員候補者の選定(欠員補充)について 第6号議案 令和6年度(第1回)評議員会の招集について
第2回 8月2日 前橋市	報告 第1号報告 本会会員の入会にかかる専決処分について 議案 第1号議案 理事候補者の選定(欠員補充)について 第2号議案 評議員候補者の選定(欠員補充)について 第3号議案 令和6年度(第2回)評議員会の開催(決議の省略) について

期日・場所等	内 容
第 3 回 12 月 9 日 前橋市	報告 第 1 号報告 会長及び常務理事の職務執行状況について (令和 6 年 6 月 1 日～令和 6 年 1 1 月 3 0 日) 第 2 号報告 令和 6 年度一般会計収支補正予算専決処分について 第 3 号報告 給与規程の一部改正専決処分について 第 4 号報告 本会会員の入会にかかる専決処分について 議案 第 1 号議案 給与規程の一部改正について 第 2 号議案 令和 6 年度（第 3 回）評議員会の招集について
第 4 回 3 月 13 日 前橋市	報告 第 1 号報告 令和 6 年度一般会計収支補正予算先決処分について 第 2 号報告 新型コロナウイルス感染症に係る緊急小口資金等の生活福祉資金特例貸付債権管理に関わる業務委託プロポーザルの実施結果について 第 3 号報告 本会会員の入会にかかる専決処分について 議案 第 1 号議案 令和 6 年度生活福祉資金会計収支補正予算について 第 2 号議案 経理規程の一部改正について 第 3 号議案 就業規則の一部改正について 第 4 号議案 給与規程の一部改正について 第 5 号議案 令和 7 年度事業計画について 第 6 号議案 令和 7 年度資金収支予算について 第 7 号議案 令和 7 年度役員賠償責任保険の契約について 第 8 号議案 評議員候補者（欠員補充）の選定について 第 9 号議案 令和 6 年度（第 3 回）評議員会の招集について

(イ) 評議員会

期日・場所等	内 容
第 1 回 6 月 21 日 前橋市 (集合&web 開催)	報告 第 1 号報告 令和 5 年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算専決処分について 第 2 号報告 令和 6 年度一般会計収支補正予算専決処分について 第 3 号報告 評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告について 第 2 号議案 令和 5 年度決算について 第 3 号議案 理事及び監事の選任について

期日・場所等	内 容
第 2 回 9 月 2 日 (決議の省略)	議案 第 1 号議案 理事の選任について
第 3 回 3 月 24 日 前橋市 (集合&web 開催)	報告 第 1 号報告 令和 7 年度役員等賠償責任保険の契約について 議案 第 1 号議案 令和 6 年度生活福祉資金会計収支補正予算について 第 2 号議案 令和 7 年度事業計画について 第 3 号議案 令和 7 年度資金収支予算について

(ウ) 評議員選任・解任委員会

期日・場所等	内 容
第 1 回 6 月 13 日 前橋市	(1) 評議員の選任について
第 2 回 8 月 2 日 前橋市	(1) 評議員の選任 (欠員補充) について
第 2 回 3 月 13 日 前橋市	(1) 評議員の選任 (欠員補充) について

(エ) 監事監査

期日・場所等	内 容
5 月 17 日 前橋市	(1) 令和 5 年度事業報告について (2) 令和 5 年度決算について

③事業継続計画 (BCP) の見直し

期日・場所等	内 容
1 月 14 日 前橋市	第 1 回災害委員会 ・群馬県社会福祉協議会 BCP について協議・見直し
2 月 4 日 前橋市	第 2 回災害委員会 ・群馬県社会福祉協議会 BCP について協議・見直し

(3) 関係団体との連携強化

地域共生社会の実現をはじめ様々な福祉課題に対応するため、関係団体との連携体制の構築を図った。

①予算要望・政策提言

期日・場所等	内 容
8 月 26 日 前橋市	予算要望会議の開催 ・要望団体代表による要望事項の説明及び予算要望活動実施の確認

期日・場所等	内 容
9 月 11 日 前橋市	県への要望書の提出

②社会福祉功労者表彰式の実施

期日・場所等	内 容
11 月 12 日 前橋市	群馬県知事表彰・群馬県ボランティア顕彰 代表受領:6 名・2 団体 群馬県社会福祉協議会長表彰 代表受領:5 名・1 団体 群馬県共同募金会表彰 代表受領:1 団体

(ア) 群馬県社会福祉協議会長表彰 388 名・2 団体

表彰区分	被表彰者数
(1) 民生委員・児童委員	38 名
(2) 保護司	31 名
(3) 社会福祉法人、社会福祉施設等	305 名
(4-1) 優良地区社会福祉協議会	0 団体
(4-2) 特別優良地区社会福祉協議会	0 団体
(5) 模範自立障害者	4 名
(6) 里親	5 組 (10 名)
(7-1) 感謝 (個人)	0 名
(7-2) 感謝 (団体)	2 団体

③社会福祉関係団体の活動支援と連携強化

福祉バス「愛の募金号」の運行

(ア) 月別運行状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
運行日数	1	5	7	6	5	9	15	15	3	1	2	3	72

(イ) 県内、県外運行状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
県外	0	3	4	3	2	3	5	5	1	0	1	1	28
県内	1	2	3	3	3	6	10	10	2	1	1	2	44

(ウ) 利用者数及び移動困難者

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用人数	20	153	180	199	128	310	397	468	89	23	75	93	2,135
うち移動困難者	0	29	34	18	5	33	27	260	1	0	6	3	416

(エ) 宿泊利用状況及び運行キロ数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
宿泊利用 回数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
運行 キロ数	120	833	820	835	598	1,111	2,019	2,067	322	20	121	392	9,258

④社会福祉振興基金助成事業

(ア) 事業概要

社会福祉振興基金は、県民からの寄附金等を基金に積み立て、その運用益をもって県内民間社会福祉事業に対し必要な援助を行うことにより、社会福祉活動の健全な発展を図り、以て県民福祉の増進に寄与することを目的に実施した。

(イ) 新規基金積立額と基金残高

項 目	金 額	備 考
(前年度 基金額)	1,188,911,178 円	
基金取崩額	0 円	投資有価証券満期償還
基金積立額	0 円	投資有価証券新規購入
令和6年度末 基金額	1,188,911,178 円	

(ウ) 基金運用実績

運用方法 国債・地方債・政府保証債を自家運用
 債券保有数 11 銘柄
 受取利息配当金収入 9,854,700 円

(エ) 助成事業実施状況

県内の社会福祉団体への助成（民間社会福祉活動助成事業）

団体：23 団体 事業数：24 事業 金額： 3,712,901 円

※申請団体・事業数：26 団体 27 事業 うち中止・延期事業：3 事業

⑤福祉の保険の周知と事故防止への取組

全国社会福祉協議会の補償制度「しせつの損害補償」、「社協の保険」、「ボランティア活動保険」について、会議・研修会資料等へ広告を掲載し周知に努めた。

第3期 群馬県社会福祉協議会 活動推進計画（2021年度～2025年度）目標数値及び達成状況【2024年度実績】

評価：実績と目標値から達成率を算出し、次の評価基準により評価します。

A	数値が2025年度目標値を達成
B	数値が2024年度目標値を達成（策定時の数値と2025年度目標値の差の8割）※
C	2020年度策定時の数値以上B未満
D	策定時より数値が後退

※2023年度開始の事業については、2025年度目標値の2/3を2024年度目標値とする

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状		2025年度 目標値		目標値設定の 考え方	2024年度 目標値	2024年度実績	
					数値	数値	数値	数値			実績数値	4段階評価
1	I 包括的な支援体制の構築	1 地域における総合的な支援の創出	(1) 市町村圏域における包括的支援体制の構築	地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定	31か所	35か所			全市町村での策定	35か所	35か所	A
2			(2) ボランティア・市民活動と福祉教育の推進	(新) 包括的な支援体制の構築における市町村社協の取組	2023年度開始	14か所			群馬県福祉プランの数値目標と同一	10か所※	5か所	C
3				住民による社会参加の場（ふれあい・いきいきサロン等）	2,487か所	3,000か所			直近5年間の増加率の約2倍	2,898か所	2,387か所	D
4				(新) 企業等SDGs活動支援センターへの企業等登録件数	2023年度開始	32か所			県産業政策課が選定している「SDGsビジネスプラクティス」選定企業のうち地域貢献/地域共創型ビジネス企業数	22か所※	20か所	C
5		2 市町村における総合的な相談支援体制の強化	(1) 権利擁護体制の構築	(新) 中核機関設置市町村数	2023年度開始	35市町村 (2024年度中)			群馬県福祉プランの数値目標と同一	28市町村※	34市町村	B
6			(2) 生活困窮者等への支援	法人後見事業実施社協数	3か所	15か所			2021年度当初実施予定の5か所とあわせて年間2か所で実施	13か所	14箇所	B
7				支援プラン策定件数	29件	166件			2022年度の策定件数を基準とし、毎年度1.2を乗じた件数	139件	235件	A
8				(新) 就労支援プラン対象者のうち就労・増収者数の割合	2023年度開始	75%			国が設定するKPIの目安値と同一	50%※	63%	A

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状	2025年度 目標値	目標値設定の 考え方	2024年度 目標値	2024年度実績	
					数値	数値			実績数値	4段階評価
9	Ⅰ包括的な支援体制の構築	2市町村における総合的な相談支援体制の強化	(2) 生活困窮者等への支援	(新) ひきこもりオンラインサロンへの当事者および家族の参加者数	2023年度開始	50名	県実施の「ひきこもりに関する実態調査」にて把握した支援を受けていないひきこもり状態の方の人数の10%(当事者及び親)	34名※	69名	A
10				総合支援資金貸付件数	9件	14件	新型コロナウイルス感染症特例貸付終了後の貸付件数の増加を見込んで、2020年度の1.5倍増	13件	6件	D
11				現況報告書の「地域における公益的な取組」記載率 (A層)	72.6%	100%	5年後には全ての法人で公益的な取組を実施し、現況報告書へ記載	89%	82.3%	C
12				社会福祉法人等連絡会の設置 (B層)	11か所	35か所	全市町村で設置 (広域での設置を含む)	31か所	19か所	C
13			(3) 社会福祉法人等の連携強化	群馬県ふくし総合相談支援事業加入法人 (C層)	183法人	250法人	誰もが身近なところで相談が可能となるように全法人の50%が加入	237法人	190法人	C
14				なんでも福祉相談員数 (C層)	360名	500名	いつでも相談に応じられるよう、各参加法人2名以上の相談員を配置	472名	469名	C
15				第三者評価事業評価機関数	3か所	8か所	安定的な評価実施のため、年1か所ずつ増加	7か所	5か所	C
16				第三者評価事業年間受審施設数	2か所	16か所	1評価機関につき年2か所の評価実施	14か所	4か所	C
17				(新) 『ブレ評価』年間受審施設数	2023年度開始	36か所	1評価機関につき年4か所 (本評価受審施設数の2倍) の評価実施	24か所※	15か所	C
18				就職者数	187名	300名	現状の就職者数の60%増	278名	392名	A
19				新規求職者数	1,501名	2,350名	過去4年間は毎年、求職相談数の50%が新規求職登録していることから求職相談目標値4,700人の50%として算出	2,181名	1,540名	C

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状		2025年度 目標値		目標値設定の 考え方	2024年度 目標値	2024年度実績	
					数値	数値	数値	数値			実績数値	4段階評価
20	Ⅱ福祉人材の確保・育成・定着	Ⅰ福祉人材の確保に向けた取組の強化	(1) 福祉人材の確保に向けた取組の推進	求職相談数	3, 916件	4, 674件	求職相談数の過去4年間の平均値 3, 595件に対して30%増	4, 523件	8, 287件	A		
21				介護福祉士登録数	331名	497名	現状の登録者の50%増	464名	471名	B		
22				保育士登録数	22名	388名	群馬県『潜在保育士等調査』(2020年2月)における無職の保育士数970人の40%として算出	315名	99名	C		
23				(新) 保育士就職数	2023年度開始	150名 ※2023年度からの累計数	県との委託契約(50件/年)の3年分	100名※	104名	B		
24				福祉の仕事相談会参加者数	269名	404名	現状の参加者数の50%増	377名	389名	B		
25				LINE登録者数	2021年度開始	1, 500名	年間300名の増加。 5年で1, 500名	1, 200名	1, 341名	B		
26				介護福祉士修学資金貸付事業	101名	144名	県内養成校9校 定員480名の30%が利用	136名	131名	C		
27				介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業	64名	82名	2020年度実績数の年5%増	79名	86名	A		
28				離職した介護人材の再就職準備金貸付事業	31名	78名	2020年度実績数の年20%増	69名	27名	D		
29				介護分野就職支援金貸付事業	2021年度開始	85名	2021年度貸付予定数58名の年10%増	68名	22名	C		
30				障害福祉分野就職支援金貸付事業	2021年度開始	17名	2021年度貸付予定数11名の年10%増	14名	9名	C		
31				保育士修学資金貸付事業	43名 (2019年度)	140名	県内養成校10校 定員1, 405名の10%が利用	100名	78名	C		
32				潜在保育士就職準備金貸付事業	9名	61名	県『潜在保育士等調査』(2020年2月)において「今後、保育園で働きたい」と回答した301名の 20%の利用	51名	12名	C		

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状		目標値設定の 考え方	2024年度 目標値	2024年度実績	
					数値	数値			実績数値	4段階評価
33	II 福祉人材の確保・育成・定着	2 福祉人材の育成・定着に向けた取り組みの強化	(1) 福祉人材の確保に向けた取り組みの推進	福祉従事者向け研修参加者数	950名	1,200名	現状の参加者数の25%増 (階層別研修、資質向上のための各種研修会の実施。県委託研修は除く)	1,150名	1,350名	A
34				ソウエルクラブ加入法人数	103法人	123法人	年間4法人入会	119法人	106法人	C
35	III 災害福祉支援体制の強化	1 災害に備えた体制の整備	(1) 災害福祉支援ネットワークの機能強化	「災害時の相互応援に関する基本協定」に基づく図上訓練の継続実施	5地区	10地区	年1回、地区持ち回り訓練を継続し、新たに5地区で実施	9地区	9地区	B
36				モデルBCP策定検討会の継続実施	3法人	20法人	県内20法人にて モデルBCPを策定	17法人	19法人	B
37				BCP策定アドバイザーの派遣事業にかかるアドバイザー養成	2021年度開始	20名	モデルBCPを策定した法人に各1名のアドバイザーを養成	16名	37名	A
38				モデル福祉避難所立ち上げ訓練の計画・実施	2021年度開始	5か所	県総合防災訓練と併用し、年1回の立ち上げ訓練を実施	4か所	8か所	A
39				市町村を対象とした福祉避難所運営訓練や研修の実施	2圏域	12圏域	県内の12保健所圏域全てにおいて実施	10圏域	12圏域	A
40			(2) 災害派遣福祉チーム（ぐんまDWAT）の機能強化	保健所圏域単位での保健・医療分野との合同訓練や研修の実施	3圏域	12圏域	県内の12保健所圏域全てにおいて実施	11圏域	12圏域	A
41				ぐんまDWAT登録者数の確保・維持、質の向上	236名	300名	県内の12保健所圏域に各20名のチーム員配置を目指すとともに、本部員、広域での調整員の配置等により整備	288名	290名	B
42				災害福祉コーディネーター（仮称）の育成	2021年度開始	12名	県内の12保健所圏域全てに専門スタッフを育成	10名	13名	A

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状		2025年度 目標値		目標値設定の 考え方	2024年度 目標値	2024年度実績	
					数値	数値	数値	数値			実績数値	4段階評価
43	Ⅲ災害福祉支援体制の強化	1 災害に備えた体制の整備	(2) 災害派遣福祉チーム（ぐんまDWAT）の機能強化	社協の災害ボランティアセンターと連携した訓練の実施	2021年度開始	5地区	5地区	5地区	県総合防災訓練と併用し、年1回の連携訓練を実施	4地区	4地区	B
44				ぐんまDWATの専門性向上のための分野別研究会や訓練の実施	高齢者:3回 障害者:3回 子ども・女性:3回	高齢者:15回+訓練1回 障害者:15回+訓練1回 子ども・女性:15回+訓練1回			DWATの資質向上を図るため、年1回以上の研究協議を継続開催し、実行性を高めるための訓練を計画・実施	41回	高齢者:14回 障害者:16回 子ども・女性:12回 計:42回	B
45				市町村を対象とした避難所運営訓練や研修の実施	2圏域	12圏域			県内の12保健所圏域全てにおいて実施	10圏域	12圏域	A
46		2 災害ボランティア活動への支援	(1) 多様な災害ボランティア関係団体との連携	災害支援に関する会議、研修会の参加団体数の増加（多様な関係機関・団体とのネットワークづくり）	市町村社協:27 関係機関:23 合計:50団体	市町村社協:35 関係機関:75 合計:110団体			全市町村社協の参加のほか、毎年10団体の増	98団体	市町村社協34 関係機関64 合計:98団体	B
47				市町村行政と市町村社協の協定の締結	8か所	35か所			全ての市町村社協で協定を締結	30か所	25か所	C
48				青年会議所と市町村社協の協定の締結	1地区	12地区			全ての青年会議所にて協定を締結	10地区	10地区	B
49				ぐんまDWATや福祉専門職等との連携した合同訓練の実施	2021年度開始	5か所			県総合防災訓練と併用し、年1回の連携訓練を実施	4か所	5か所	A
50			(2) 災害ボランティアセンターの運営支援	市町村災害ボランティアセンターの設置・運営（市町村災害ボランティアセンター設置・運営訓練実施か所）	市:12か所 町村:1か所 (累計)	市:12か所 町村:6か所			(市) 群馬県総合防災訓練による年1回の訓練の継続実施（町村）年1回の設置・運営訓練の実施	17か所	市:12か所 町村:7か所 (累計)	A
51				市町村災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの作成支援	15か所	35か所			全ての市町村社協で設置・運営マニュアルを作成	31か所	25か所	C

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状		目標値設定の 考え方	2024年度 目標値	2024年度実績	
					数値	数値			実績数値	4段階評価
52	Ⅲ災害福祉支援体制の強化	2 災害ボランティア活動への支援	(2) 災害ボランティアセンターの運営支援	市町村社協BCP策定支援	10か所	35か所	全ての市町村社協でBCPを策定	30か所	30か所	B
53				地域における避難行動要支援者見守り推進事業の推進	2021年度開始	6か所	県内6市町村で事業を推進(2か年×3か所)	5か所	5か所	B
54		3 感染症に対応した体制の整備	(1) 感染症発生時の社会福祉施設への支援	感染症対策モデルBCP策定支援	3法人	10法人	県内10法人にてモデルを策定	9法人	11法人	A
55				応援職員の追加募集によるマンパワーの確保	高齢156事業所 障害 85事業所	高齢200事業所 障害100事業所	応援派遣の派遣が可能な事業所を拡大(高齢者施設:約30%増、障害者施設:約20%増)	※令和5年度で事業終了	高齢160事業所 障害 95事業所	
56				応援職員の専門性向上のための研修会の実施	高齢:3回 障害:2回	高齢:10回 障害:10回	応援職員の資質向上を図るため、年1回以上の研修を継続して実施	※令和5年度で事業終了	高齢:6回 障害:11回	
57				応援派遣を想定した図上訓練の実施	2021年度開始	5地区	年1回、地区持ち回り訓練を開催し、5地区で実施	4地区	6地区	A
58			(2) 感染症予防に向けた取組の強化	感染症に対応した避難所運営研修の実施	2021年度開始	12圏域	県内の12保健所圏域全てにおいて実施	10圏域	11圏域	B
59				感染症に対応した災害ボランティアセンターの設置・運営研修(市町村災害ボランティアセンター設置・運営訓練)	2021年度開始	5か所	県総合防災訓練と併用し、年1回の訓練を実施	4か所	5か所	A
60				ICT(SNSやオンライン)を活用した情報共有会議の実施	2021年度開始	5か所	県総合防災訓練と併用し、年1回の訓練を実施	4か所	4か所	B
61	Ⅳ県社協の組織基盤の強化	1 組織体制の強化	(1) 人材育成の強化	社会福祉士資格取得割合	39.3% (13名/33名中)	70%以上 (24名)	11名増、取得率70%以上	65.3% (22名)	45.7% (16名/35名)	C
62				自己啓発助成制度の活用	3件 (2016～2020年度)	10件	助成制度の内容拡充により毎年2件、5年で10件	9件	8件	C
63				人事評価制度の導入	試行的に実施	2023年度から本格導入	2023年度から本格導入	実施	実施	A

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状		2025年度 目標値		目標値設定の 考え方	2024年度 目標値	2024年度実績	
					数値	数値	数値	数値			実績数値	4段階評価
64	IV県社協 の組織基 盤の強化	1 組織体 制の強化	(2) 働き方 改革の推進	衛生委員会等の機能 充実	12回	24回	衛生委員会及び産業医による 巡視・相談回数を合わせて24 回	22回	会議12回 個別相談7回 研修会6回 巡視1回			A
65				職員の年間平均有給 休暇の取得数	9.6日 (49.6%)	14日 (70%)	職員年間取得を14日と し、付与日数に占める取得率 70%	13.6	平均取得日数 12.2日 (37.1%)			C
66				職員一人あたりの年 間平均時間外勤務時 間数	101時間 (2017～ 2020年度平均)	75時間	過去4年間の平均時間外数101 時間の25%削減	80	平均73時間			A
67				職員一人あたりのテ レワーク目標日数	2021年度開始	週2日	情報通信基盤、勤怠管理、コ ミュニケーション等を考慮し 週2日	2	週0.028日			C
68				男性職員の育児休業 等取得率	0% (2018～ 2020年度)	100% (対象者は全て取 得)	男性職員の育児休業等取得率 100% (育児休業・育児短時間勤 務・部分休業)	80%	※対象職員なし			
69				男性職員の産休5日以 上の取得	0% (2018～ 2020年度)	100% (2021～ 2025年度)	男性職員の産休5日以上の取 得率 100% (配偶者出産休暇・育児参加 休暇)	80%	※対象職員なし			
70			(3) 情報発 信の強化	ホームページの年間 閲覧数	170,104件	236,000件	2022年度実績の10%増	222,821件	145,462件			D
71				多様な広報媒体の活 用	媒体数3件 ・福祉ぐんま (機関誌) ・ホームページ ・YouTube	媒体数6件 運用ルール の策定 (2023年度中)	プロジェクトチームの編成に よりSNSユーザーに合った LINE、Facebook等の広報媒 体数を増設	6件	5件			C
72		2 経営基 盤の強化	(1) 財政基 盤の強化と 既存事業の 見直し	会 員 数	5,405か所	5,505か所	毎年20か所の増	5,485か所	5,414か所			C
73				特別賛助会員数	1か所	21か所	毎年4か所の増	17か所	14か所			C
74				バナー広告	1か所	15か所	毎年3か所の増	13か所	6か所			C
75				封筒広告	2021年度開始	5か所	民間企業等に働きかけ毎年1 か所の増	4か所	6ヶ所			A
76			(2) ガバナ ンスの強化	会計専門家による 外 部検査の継続実施	4回	4回	四半期ごとに継続実施	4回	4回			A

No	基本目標	推進項目	具体的なアクション	項目	策定時 (2020年度)の 現状		目標値設定の 考え方	2024年目標値	2024年度実績	
					数値	数値			実績数値	4段階評価
77	IV県社協 の組織基 盤の強化	2経営基 盤の強化	(2) ガバナ ンスの強化	全社協経理研修	(中級) 7名 (21.2%) (初級) 21名 (63.6%)	(中級) 17名 (51.5%) (初級) 33名 (100.0%)	中級受講者を51.5%、初級受 講者を100%	(中級) 15名 (45.5%) (初級) 31名 (94.0%)	(中級・上級) 17名 (48.6%) (入門・初級) 30名 (85.7%)	B
78			(3) 関係団 体との連携 強化	市町村社協部会	2回	2回	各部会における協議を2回以 上実施	2回	2回	A
79				民生委員児童委員部 会	群馬県民生委員児童委員協議会 として活動		各部会における協議を2回以 上実施	2回	8回	A
80				経営者部会	群馬県社会福祉法人経営者協議会 として活動		各部会における協議を2回以 上実施	2回	5回	A
81				障害福祉部会	2回	2回	各部会における協議を2回以 上実施	2回	2回	A
82				高齢福祉部会	0回	2回	各部会における協議を2回以 上実施	2回	0回	C
83				子ども福祉部会	2回	2回	各部会における協議を2回以 上実施	2回	2回	A
84				ボランティア・市民 活動部会	0回	2回	各部会における協議を2回以 上実施	2回	1回	C
85				更生保護部会	群馬県保護司会連合会 として活動		各部会における協議を2回以 上実施	2回	17回	A
86				部会を横断した連携 や協議	1回	1回	部会横断による協議の場の設 置を継続	1回	1回	A

評価対象目標数値の達成状況（2024年度）

基本目標	評価目標数	A	B	C	D	その他
Ⅰ 包括的な支援体制の構築	17	4	2	9	2	0
		23.5%	11.8%	52.9%	11.8%	0.0%
Ⅱ 福祉人材の確保・育成・定着	17	4	4	8	1	0
		23.5%	23.5%	47.1%	5.9%	0.0%
Ⅲ 災害福祉支援体制の強化	26	11	11	2	0	2
		42.3%	42.3%	7.7%	0.0%	7.7%
Ⅳ 県社協の組織基盤の強化	26	12	1	10	1	2
		46.2%	3.8%	38.5%	3.8%	7.7%
計	86	31	18	29	4	4
		36.0%	20.9%	33.7%	4.7%	4.7%

A 及び B の合計 (その他を除く割合)	49
	59.8%